

別表1. 鉄道・観光学科観光科

必修・選択の別	授業科目	年間授業時数		授業時数 合計	単位数		
		第1学年	第2学年		第1学年	第2学年	合計
必修	ホスピタリティ入学研修	12	0	12	-	-	-
必修	入学オリエンテーション	12	0	12	-	-	-
必修	就職セミナー	8	0	8	-	-	-
必修	ショートホームルーム	60	60	120	-	-	-
必修	始業HR	0	4	4	-	-	-
必修	卒業式前HR	0	4	4	-	-	-
	小計	92	68	160	-	-	-
必修	業界英会話	60		60	4		4
必修	ホスピタリティ・SDGs研究	30		30	2		2
必修	キャリアガイダンス or 留学対策授業	60		60	4		4
必修	ビジネスプレゼンテーション	60		60	4		4
必修	業界就職試験対策	60		60	4		4
必修	旅行業法	30		30	2		2
必修	旅行業約款	30		30	2		2
必修	国内旅行地理	30		30	2		2
必修	国内旅行運賃	30		30	2		2
必修	国内実務対策	30		30	2		2
必修	ICT観光プロモーション	60		60	4		4
必修	国内観光プランニング	30	60	90	2	4	6
必修	海外観光プランニング	60	30	90	4	2	6
必修	観光業界研究	60		60	4		4
必修	就職対策	30	30	60	2	2	4
必修	ユニバーサルツーリズム	30		30	2		2
必修	PCスキル(デザイン)	30		30	2		2
必修	地域創生プランニング	30		30	2		2
必修	添乗実務	30	30	60	2	2	4
必修	文書表現	30		30	2		2
必修	航空端末オペレーション	30		30	2		2
必修	総合対策Ⅰ		30	30		2	2
必修	総合対策Ⅱ		30	30		2	2
必修	ツーリズム研究		30	30		2	2
必修	旅行販売オペレーション		60	60		4	4
必修	セールス&マーケティング		30	30		2	2
必修	グローバルコミュニケーション		30	30		2	2
必修	企業コラボレーション		30	30		2	2
必修	PCスキル(Word&Excel)		60	60		4	4
必修	韓国語 or 中国語 or 接客手話		120	120		8	8
必修	海外観光実務		30	30		2	2
必修	団体ツアープランニング		30	30		2	2
必修	旅行魅力発見		30	30		2	2
必修	ホテル旅館研究		30	30		2	2
必修	卒業制作		60	60		4	4
必修	ICTスキル		30	30		2	2
必修	ビジネスマナー		30	30		2	2
必修	ゼミナール(カジノ概論 or 和遊び)		30	30		2	2
	小計	840	840	1680	56	56	112
	合計	932	908	1840	56	56	112

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
総時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ICT観光プロモーション			講師名	山田真史	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルメディアやドローン等のICTを活用した観光地のプロモーションが行えるようになる ・商品のイメージが湧き立つ動画撮影技術と編集技術を学び、販売に結び付くツールを作成できるようになる 					<ul style="list-style-type: none"> ・撮影技術を身に着けるために、各自のスマートフォンを使用 ・動画編集技術を身に着けるために、各自のiPadを使用 			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	ソーシャルメディアとSNS 撮影基礎と企画			SMMとSNSの基本知識と活用する動画の企画・撮影・編集について学ぶ				
2	スマホでカッコイイ動画撮影			スマホの設定、撮影アングル、トランジションについて学ぶ				
3	編集基礎	課題①	15	撮影した動画をスマホアプリで編集飽きない動画作品の知識を学びます				
4	ドローン基礎知識			ドローンを飛ばす基礎知識（航空法を中心とした、ドローン飛行に関する法律）				
5	ドローン操作基礎	筆記①	30	ドローン操作方法について理解				
6	ドローン操作	実技①	15	ドローン操作方法について理解				
7	ドローンFW	実技②	15	ドローン野外飛行実習				
8	FWの振り返り、動画編集			FWの振り返りと動画編集方法を理解				
9	FW分の休講							
10	課題に沿った動画制作			商品のPR動画を制作基礎知識を習得する				
11	課題に沿った動画制作			商品のPR動画を制作する				
12	課題に沿った動画制作			商品のPR動画を制作する				
13	課題に沿った動画制作			商品のPR動画を制作する				
14	課題に沿った動画制作	課題②	25	商品のPR動画の完成				
15	まとめ・振り返り			まとめと振り返り				
追試詳細					達成度評価		使用教材	
課題①：提出日を翌週に変更 課題②：チームでの提出のため、提出日変更なし 実技①：別日にて実技テストを実施 実技②：別途レポートにて対応 筆記①：別日にて筆記テストを実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
総時間数			30	単位数	2	区分	共通	必修
科目名			キャリアガイダンス			講師名	上田 綾子	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. ビジスマナー・就活の基本を学ぶ 2. 7月3日(日)実施のビジネス能力検定ジョブパス 3級合格を目指す(申込不要) 3. ホスピタリティを土台とし、マナーをわきまえた社会人の言動をとれるようになる 【2級受験希望者は学生カウンターへ要申請】					就職活動でも必要となる、ビジスマナーとコミュニケーション、仕事の進め方やビジネス文書、電話対応などを学びながら、同時に検定合格を目指す。 授業では、テキストと問題集を併用し、知識の習得や過去、模擬問題に取り組み、家庭学習も必要となる。			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	第1編、1、2章 キャリア、働く意識、8つの意識			<input type="checkbox"/> キャリアを知り、働く意義を考える <input type="checkbox"/> 仕事の基本となる8つの意識を身につける				
2	第1編、3、4章 コミュニケーション、ほうれんそう	筆記	5	<input type="checkbox"/> コミュニケーションとビジスマナーの基本について理解する <input type="checkbox"/> 「ほうれんそう」の重要性を再認識する				
3	第1編 5章 話し方、聞き方 敬語	筆記	5	<input type="checkbox"/> 敬語、話し方と聞き方のポイントを理解し、「学生ことば」を卒業する				
4	第1編 6,7章 来客対応、訪問、対外交際	筆記	5	<input type="checkbox"/> 来客対応と訪問の基本マナーを身につける <input type="checkbox"/> 会社関係でのつき合いを知る				
5	中間テスト 第2編 1章 仕事への取り組み方	筆記	30	<input type="checkbox"/> 仕事への取り組み方について理解する				
6	第2編 2章 ビジネス文書・メール 配布資料 添え状とは	筆記	5	<input type="checkbox"/> ビジネス文書の基本を身につける <input type="checkbox"/> 添え状が書けるようになる				
7	第2編 3章 電話対応 配布資料 就活に於ける電話対応	筆記	5	<input type="checkbox"/> 基本的な電話対応ができるようになる <input type="checkbox"/> ケーススタディで電話対応を身につける				
8	第2編 4、5章 データの読み方、情報収集	筆記	5	<input type="checkbox"/> メディアを活用した情報収集ができる				
9	第2編 6章 経済史、社会の環境	筆記	5	<input type="checkbox"/> 取り巻く環境と経済の基本について理解する				
10	期末テスト・検定直前対策	筆記	30	<input type="checkbox"/> ジョブパスの特徴を捉え、出題形式に慣れる	講義			
11	業界が求める人物像 自己理解「ジョハリの窓」	課題	5	<input type="checkbox"/> 業界が求める人物像を具体化する <input type="checkbox"/> 「ジョハリの窓」から自己理解の気づきを得る	講義			
12	未来計画書作成			<input type="checkbox"/> 成し遂げたい項目3点を掲げる <input type="checkbox"/> 達成のためのアクションプランを完成させる	講義			
13	第1編総復習			第1編を演習問題を通じて総復習する				
14	第2編総復習			第2編を演習問題を通じて総復習する				
15	まとめ			振り返りとまとめ				
追試詳細					達成度評価	使用教材		
【評価方法】 筆記 小テスト 5点×7回 筆記 中間テスト 30点 筆記 期末テスト 30点 課題 5点 【追試】 筆記 授業内にて実施（実施日は担当講師に確認） 課題 母数減らしにて対応					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		B検ジョブパス ビジネス能力検定3級 ・公式テキスト ・公式問題集 ・配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
総時間数			30	単位数	2	区分	共通	必修
科目名			ビジネスプレゼンテーション			講師名	田村 菜摘	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>社会人として働く時、自分の考えを決裁者に対して理解しやすく納得できるように提案するための段取りや組み立て方を理解し、言語情報・音声情報・視覚情報として伝えることや簡潔明瞭に伝えるスキルを養う。学生自身が好きなこと・得意なことを見つけて、全員がリーダーとなり夢や目標を達成させ、成功体験を語ることができるようになる。</p>					<p>講義をした後、ワークショップ（参加者個々が考え、お互い協力し合い、与えられたテーマを元に行う体験型授業）や実技（発表）を繰り返すことで、基礎のプレゼンテーション知識の体得を目指す。</p>			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標		授業形式	
			形式	点数				
1	オリエンテーション（BTSとは）チームビルディング（アイスブレイク）		課題	10	一年間の流れ、BTSの説明、ワークショップを実施しクラスの雰囲気高める		講義	
2	自己紹介		実技	20	自己紹介をしながらワークショップを行いコミュニケーションの取りやすい環境を作る		実技	
3	チームビルディング（組織強化的、コンセンサス合意）				議論のまとめ方を学び、組織強化、コンセンサス合意を目的としたチームビルディングを行う		講義	
4	プレゼンテーションの基本構造、企画の基本構造		課題	10	プレゼンの基本であるPREP構造、企画の基本構造をヒット商品に学ぶ		講義	
5	アイデアの発想法				アイデアを発想する方法（フレーム）をいくつか紹介し、発想のトレーニングを行う		講義	
6	プレゼンテーションテクニック①（課題の見つけ方）				テーマを示し、情報収集→課題発見→課題解決のワークショップを行う		講義	
7	プレゼンテーションテクニック②（アイデア→企画書）		課題	10	課題解決のためのフレームワークを使って企画書の作成を行う		講義	
8	プレゼンテーションテクニック③（発表、フィードバック）		実技	20	発表とフィードバック		実技	
9	BTS概要説明				BTS全体テーマ発表→「業界を“オシャレ”に」（業界の課題解決の提案）		講義	
10	マーケティング基礎				情報収集の仕方、環境分析、ターゲットニング、AIDMAを実例を交えてマーケティングの基礎を学ぶ		講義	
11	BTS企画構想ワークショップ（個人→チーム）		実技	20	BTSの提案を個人で考えさせ、共有し、カテゴリー別にチーム編成する		講義	
12	BTS企画構想（チーム）				BTSのチームテーマ決定する ※夏休み期間に何をするか、役割分担		講義	
13	//				BTSのチームテーマ決定する ※夏休み期間に何をするか、役割分担		実技	
14	//		課題	10	BTSのチームテーマ決定する ※夏休み期間に何をするか、役割分担		実技	
15	まとめ				行程表作成時の注意点を理解する		実技	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>10点課題・・・母数減らし 2回目・12回目 20点実技・・・次回授業までに実施 8回目・・・チーム点加算</p> <p>いずれの追試も下記<追試の流れ>に従うこと。</p>					<p>A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下</p>		#REF!	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
総時間数			30	単位数	2	区分	共通	必修
科目名			ホスピタリティ・SDGs研究			講師名	上田 綾子	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
相手の立場に立って考え行動するホスピタリティマインドを理解し、行動に移せるようになることを目標とする。個人間のホスピタリティを理解したあとで、企業が行うホスピタリティの行動としてSDGsの事例を学び、地球規模でホスピタリティの具現化について考察を深める。					「ホスピタリティマインド」「SDGs」という2つのテーマについて、講師がファシリテーターとなり、学生自らが気づきを得るためのワークショップ形式の授業を展開する。			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション ホスピタリティマインドとは何かを考える				<input type="checkbox"/> 響存関係づくりからホスピタリティを理解した	講義		
2	「これってホスピタリティ？」 事例から考えるホスピタリティ				<input type="checkbox"/> 事例から様々な考え方や行動があることに気付いた	講義		
3	私のホスピタリティ体験				<input type="checkbox"/> 実体験から、自分のホスピタリティや他者から受けたホスピタリティに気付いた	講義		
4	ホスピタリティに必要な力 ①感知力・想像力、SDGsの基礎を学ぶ		課題	30	<input type="checkbox"/> 業界事例から感知力・想像力を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
5	ホスピタリティに必要な力 ②マインド、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例から感知力・想像力を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
6	1週間のホスピタリティ共有		課題	20	<input type="checkbox"/> 各自の発表から気づきを得た <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
7	ホスピタリティに必要な力 ③マナー、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例からマナーの必要性を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
8	ホスピタリティに必要な力 ③マナー、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例からマナーの必要性を理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
9	ホスピタリティに必要な力 ④コミュニケーション、SDGsの基礎を学ぶ		課題	20	<input type="checkbox"/> 業界事例からコミュニケーションカを理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
10	ホスピタリティに必要な力 ④コミュニケーション、SDGsの基礎を学ぶ				<input type="checkbox"/> 業界事例からコミュニケーションカを理解した <input type="checkbox"/> SDGsの基礎を理解した	講義		
11	「私のホスピタリティ」(クレド)作成				<input type="checkbox"/> 自身の今後の行動目標を作成し、ホスピタリティ意識を高めた	講義		
12	「自身の考えるホスピタリティについて」				<input type="checkbox"/> これまでの学びや気づきをもとにホスピタリティについて考えることが出来た	講義		
13	「自身の考えるホスピタリティについて」				<input type="checkbox"/> これまでの学びや気づきをもとにホスピタリティについて考えることが出来た	講義		
14	「自身の考えるホスピタリティについて」		課題	30	<input type="checkbox"/> これまでの学びや気づきをもとにホスピタリティについて考えることが出来た	講義		
15	総復習 フィードバック				<input type="checkbox"/> ホスピタリティについて考える機会が増えた	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試対応：翌週授業までに課題提出にて認定					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
総時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			海外観光プランニング			講師名	下川 成一	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ●海外旅行業務に必要な世界の主要国・主要都市の観光地理の基礎知識を学ぶ ●海外プランニングに必要な世界の主要国の観光資を学習する 					<ul style="list-style-type: none"> ●テキスト及び講師作成のプリントを使用し、世界主要国の基本情報と主な観光資源について学習する ●テキストに沿った映像を活用し、理解度を高める ●小テストを実施し、理解度を確認する 			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション 方面学習/アジアⅠ				授業計画書の説明/総合試験問題の傾向 ①台湾			
2	方面学習/アジアⅡ				②ベトナム ③カンボジア			
3	方面学習/アジアⅢ				④タイ			
4	方面学習/アメリカⅠ		筆記	20	⑤ハワイ各島			
5	方面学習/アメリカⅡ				⑥アメリカ東海岸(ワシントン/ニューヨーク/ワシントン)			
6	方面学習/アメリカⅢ				⑦アメリカ西海岸(サンフランシスコ/ロサンゼルス)			
7	方面学習/オセアニアⅠ		筆記	30	⑧オーストラリア			
8	方面学習/オセアニアⅡ				⑨ニュージーランド			
9	方面学習/ヨーロッパⅠ				⑩フランス(パリ&ベルギー)			
10	方面学習/ヨーロッパⅠ		筆記	20	⑩フランス(パリ&ベルギー)			
11	方面学習/ヨーロッパⅡ				⑪イタリア(ローマ&フィレンツェ)			
12	方面学習/ヨーロッパⅡ				⑪イタリア(ローマ&フィレンツェ)			
13	方面学習/ヨーロッパⅢ				⑫スペイン			
14	方面学習/ヨーロッパⅣ		筆記	30	⑬英国			
15	まとめ				ふりかえりとまとめ			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		海外観光資源 旅に出たくなる地図 (世界)	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
総時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			観光業界研究			講師名	木下 優	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>観光業界・旅行業界の仕組みや業務内容を理解する。そして就職活動をする際において、業界の仕事を深く理解していることにより職種選択に役立てることができる。</p>					<p>観光業界や旅行業の仕組みや旅行会社の具体的な業務内容を学習する。また旅行業務の「楽しさ」と「厳しさ」の両面について理解を深める。</p>			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション 自己紹介 授業内容の説明、旅行業とは				授業計画・評価方法を理解する	講義		
2	旅行業の仕組み				旅行業の仕組みについて理解する	講義		
3	旅行会社の種類と業務内容・職種				旅行会社の仕事全般を知る	講義		
4	カウンターの仕事①		筆記	20	筆記：旅行業の仕事と特徴について カウンター業務について学習する	講義		
5	カウンターの仕事②				旅行業の仕事と特徴について カウンター業務について学習する	講義		
6	カウンターの仕事③				カウンター業務について理解する	講義		
7	添乗員の仕事①		筆記	20	筆記：カウンター業務について 添乗業務を学習する	講義		
8	添乗員の仕事②				カウンター業務について 添乗業務を学習する	講義		
9	添乗員の仕事③				添乗業務を理解する	講義		
10	営業の仕事（アウトセールス）①		筆記	20	筆記：添乗業務について 営業の仕事について学習する	講義		
11	営業の仕事（アウトセールス）②				添乗業務について 営業の仕事について学習する	講義		
12	営業の仕事（アウトセールス）③				営業の仕事について理解する	講義		
13	課題の制作（旅行企画）		筆記	20	筆記：営業の仕事について 課題：旅行の企画を考え、まとめる	講義		
14	課題の発表		課題	20	課題の発表と提出	実技		
15	全体総括・まとめ				全体のまとめ	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		テキスト・早見表	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光	年次	1	クラス		
総時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			業界英会話			講師名	吉田 美樹	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・旅行業で使われる英語、旅行中様々な場面で用いられる会話、パンフレットなどに書かれている英語など、業界英語を幅広く学び、業界で用いられる英語の語彙、表現の基礎を身につける。 ・みんなの外国語検定合格を目指す。 (7月実施予定) 					テキストに沿ってテーマごとに語彙の習得、リスニング、リーディング、ライティング、ロールプレイを実践する。			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式
1	オリエンテーション Unit1					オリエンテーション Travel①		講義
2	Unit1					Travel②		講義
3	Unit2					Jobs and People①		講義
4	Unit2			筆記	25	Jobs and People②		講義
5	Unit3					Getting on the Plane①		講義
6	Unit3					Getting on the Plane②		講義
7	実技テスト			実技	25	空港チェックインでの会話		講義
8	Unit4					At the Immigration and Customs①		講義
9	Unit4					At the Immigration and Customs②		講義
10	Unit5			筆記	25	At the Airport①		講義
11	Unit5					At the Airport②		講義
12	実技テスト			実技	25	入国管理での会話		講義
13	空港で使える英会話					添乗先で使える英会話の習得		講義
14	列車・ホテルで使える英会話					添乗先で使える英会話の習得		講義
15	まとめ					振り返りとまとめ		講義
追試詳細					達成度評価		使用教材	
授業内筆記テスト2回、実技テスト2回により評価 筆記テスト① 25点 筆記テスト② 25点 実技テスト① 25点 実技テスト② 25点 合計100点満点 追試については欄外参照					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		テキスト『ベーシック 観光英語』 配布プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	共通	必修
科目名			業界就職試験対策			講師名	森本 哲夫	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
★業界就職試験に必要な数学、国語・社会の知識及び能力を得る。 1 数学の基礎計算能力の習得 2 数学の簡単な文章問題が解ける 3 国語の基礎知識を習得する 4 社会の基礎知識を習得する					・ 問題解説 および 演習			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	プレテスト ガイダンス／二語の関係				二語の関係を理解する			
2	整数・小数の乗法・除法／分数の計算				小数・分数の計算ができる			
3	四則計算／小数分数の変換／方程式		課題	6	四則計算、小数・分数の変換、方程式の計算ができる			
4	百分率・歩合の計算／割合の基礎テスト		課・筆		割合の計算ができる 数・国・社 小テスト			
5	百分率・歩合の計算／割合の基礎テスト		課・筆	6+11	割合の計算ができる 数・国・社 小テスト			
6	割合の計算／復習		課題		割合の計算ができる			
7	割合の計算／復習		課題	6	割合の計算ができる			
8	金銭計算／テスト		課・筆		金銭計算ができる 数学 中間テスト			
9	金銭計算／テスト		課・筆	6+15	金銭計算ができる 数学 中間テスト			
10	時間・速さ／速さの単位		課題		時間の計算、速さの単位変換ができる			
11	時間・速さ／速さの単位		課題	6	時間の計算、速さの単位変換ができる			
12	速度算		課題	6	速さの計算ができる			
13	集合／テスト		課・筆	6+11	集合の計算ができる 数・国・社 小テスト			
14	総復習		課題	6	(課題締切7/6)			
15	総復習／テスト		筆記	15	今までの内容が理解できている 数学 期末テスト			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
●テストの際に公欠の場合は、申し出ること。 後日追試を授業時間後又は、授業時間前に実施します。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		就職筆記対策講座テキスト サブテキスト 計2冊	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			国内観光プランニング			講師名	和田 茜	
担当講師の実務経歴		○		実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. JR時刻表の引き方を習得し、時刻や運賃等を調べることができる。 2. JR時刻表を活用し、列車等を利用した旅行の行程表が作成できる。 3. 道路地図やインターネットを活用し、日帰りバスツアーの行程表が作成できる。					1. JR時刻表の掲載内容を理解し、JRや会社線の発着時刻や運賃等を調べる。 2. プリントを使い国内ツアープランニングの基礎知識を学ぶ。 3. 高速道路地図を使い、全国の高速道路網について理解する。 4. 道路地図やインターネットを活用しながら課題に基づいた行程表を作成し提出する。			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標		授業形式	
			形式	点数				
1	JR時刻表の掲載内容				JR時刻表の掲載内容を理解する		実技	
2	新幹線検索				新幹線を理解し、時刻を調べることができる		実技	
3	在来線特急列車検索				特急列車を理解し、時刻を調べることができる		実技	
4	時刻表テスト 新幹線と在来線の乗り継ぎ検索		筆	20	時刻表検索テストにて理解度を確認する 列車の乗り継ぎを理解し、時刻表でベストな乗り継ぎ列車を調べることができる		実技	
5	ハイウェイバス・私鉄・AIR・フェリー・バス・定期観光バス等検索				会社線に関する基礎知識を習得し、時刻や運賃・料金を調べることができる		実技	
6	時刻表テスト 時刻表復習		筆	20	時刻表検索テストにて理解度を確認する 時刻表の掲載内容を理解し、使いこなすことができる		実技	
7	時刻表復習				時刻表の掲載内容を理解し、使いこなすことができる		実技	
8	国内ツアープランニングの基礎知識				国内ツアープランニングの基礎知識を理解する		実技	
9	行程表の書き方				行程表の書き方を習得する		実技	
10	行程表作成テスト（JR時刻表活用） 高速道路地図とインターネットの活用方法		筆	30	時刻表を活用し、行程表が作成できるかテストにて確認する。高速道路の理解と所要時間等をインターネットで調べられる。		実技	
11	行程表作成(日帰りバスツアー)				高速道路地図やインターネットを活用し、日帰りバスツアーの行程表を作成する		実技	
12	//				高速道路地図やインターネットを活用し、日帰りバスツアーの行程表を作成する		実技	
13	//				高速道路地図やインターネットを活用し、日帰りバスツアーの行程表を作成する		実技	
14	//		課題	30	高速道路地図やインターネットを活用し、日帰りバスツアーの行程表を作成する		実技	
15	まとめ				行程表作成時の注意点を理解する		実技	
追試詳細					達成度評価		使用教材	
筆記⇒実施日の翌週に実施 課題⇒講師の指定する日までに提出					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		・時刻表（4月号） ・配布プリント 再配布なし。 プリントを忘れた場合はロイロノート参照	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			国内実務対策			講師名	小井手桂祐	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
国内旅行業務取扱管理者の試験対策として実務科目である国内運賃の理解と国内旅行地理の知識をさらに深める。					国内運賃、国内旅行地理の授業進度に合わせて復習やテストを行う。			
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標		授業形式
				形式	点数			
1	国内実務科目の理解 国内地理（旧国名）					国内実務科目の試験内容について理解する。旧国名を覚える。		講義
2	旅客区分、乗車券の必要枚数、有効期間 国内地理（旧国名&都道府県）			筆記①	20	JR旅客営業規則を理解する。旧国名、都道府県を覚える。		講義
3	JR運賃計算(幹線・地方交通線) 国内地理（北海道）			筆記②	20	JR運賃(幹線・地方交通線)の計算方法を理解する。北海道の観光資源を習得する。		講義
4	JR運賃計算(本州3社と3島会社) 国内地理（東北）			筆記③	20	JR運賃(本州3社と3島会社)の計算方法を理解する。東北の観光資源を習得する。		講義
5	JR運賃計算(運賃打ち切り・特例) 国内地理（関東）			筆記④	20	JR運賃(運賃打ち切り・特例)の計算方法を理解する。関東の観光資源を習得する。		講義
6	JR運賃計算(割引運賃) 国内地理（甲信越）			筆記⑤	20	JR運賃計算(割引運賃)を理解する。甲信越の観光資源を習得する。		講義
7	JR運賃(まとめ) 国内地理（東海・北陸）			筆記⑥	20	JR運賃(全般)について理解する。東海・北陸の観光資源を習得する。		講義
8	JR料金(特急料金の変動・新幹線) 国内地理（近畿）			筆記⑦	20	JR料金(特急料金・新幹線)を理解する。近畿の観光資源を習得する。		講義
9	JR料金(新幹線内乗継・特急) 国内地理（中国）			筆記⑧	20	JR料金(新幹線内乗継・特急)を理解する。中国の観光資源を習得する。		講義
10	JR料金(グリーン・寝台・乗継割引) 国内地理（四国）			筆記⑨	20	JR料金(グリーン・寝台・乗継割引)を理解する。四国の観光資源を習得する。		講義
11	JR料金(まとめ) 国内地理（九州①）					JR料金(全般)について理解する。九州の観光資源を習得する。		講義
12	JR乗車券・特急券・指定席券の発売日、払戻し 国内地理（九州②・沖縄）			筆記⑩	20	JR乗車券・特急券・指定席券の発売日、払戻しを理解する。九州・沖縄の観光資源を習得する。		講義
13	演習問題①					国家試験過去問演習から、苦手分野の把握をする（幹線・地方交通線・特例・割引）		
14	演習問題②					国家試験過去問演習から、苦手分野の把握をする（特急料金の変動・新幹線）		
15	演習問題③					国家試験過去問演習から、苦手分野の把握をする（乗継割引・寝台・グリーン）		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試対象者には、原則翌週に追試を実施する 追試が不可能な場合は、母数減らして対応					A 75点以上 B 63点以上 C 50点以上 D 49点以下		テキスト 配付プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			国内旅行運賃			講師名	佐野美保	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
旅行業務取扱管理者資格の出題科目「国内実務」の中の、JRその他の運賃料金分野を学び、合格するための基礎知識を身につける					<ul style="list-style-type: none"> ・単元毎に主な計算ルール等を理解し、演習問題を確実に解けるようにする ・授業内で小テストを実施し、60%以上を取得する ・合格を目指した反復学習を行う 			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	JRの基礎知識、旅客営業規則 JR運賃計算の基本ルール				6社・年齢区分・端数整理・有効期間、幹線と地方交通線についてなど基本ルールを理解する			
2	JR運賃計算①基本				本州と他にまたがる運賃計算及び通過連絡運輸を理解し、練習問題を解ける			
3	JR運賃計算②応用		筆記①	15	連続運賃、特例都区市内等の特例を理解する			
4	JR運賃計算③割引				個人と団体（個札と団券）の割引運賃の計算ができる			
5	JR運賃演習				運賃計算のルールを活用して練習問題が解ける			
6	JR料金の基礎知識		筆記②	30	JR料金の種類と特徴、運賃との違い等を理解する			
7	JR料金計算①基本				料金計算のルールを理解し、新幹線の料金計算ができる			
8	JR料金計算②応用				新幹線内乗継及び特急料金、グリーン料金、寝台料金を理解する			
9	JR料金計算③乗継割引		筆記③	30	乗継割引適用の可否を区別することができる			
10	JR料金演習				料金の例外・通し計算、山形・秋田新幹線、発売日、払い戻しを理解する			
11	JRまとめ		筆記④	20	JRに関する国家試験レベルの問題が解けるようになる			
12	貸切バス、フェリー		筆記⑤	10	貸切りバスとフェリーの計算ルールを理解して、練習問題が解ける			
13	宿泊、国内航空運賃①				宿泊料金と国内航空運賃のルールを理解する			
14	宿泊、国内航空運賃②				宿泊料金と国内航空運賃のルールを理解する			
15	振り返りとまとめ				ふりかえりとまとめ			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
追試対象者には、原則翌週に追試を実施する 追試が不可能な場合は、母数減らして対応					A 75点以上 B 63点以上 C 50点以上 D 49点以下		テキスト 配付プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			国内旅行地理			講師名	山田 真史	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目標に、国内旅行地理の知識を習得する。 ・YouTubeやGoogle Earth等を活用し、旅行の楽しさを感じながら興味深く学習する。 					<ul style="list-style-type: none"> ・国内の主要な観光資源（観光地名、温泉、国立公園、郷土料理、祭り、特産品、旧国名、JR線名、知っておきたい名数など）を確実に覚えていく。 ・地理サブノートを自主学習で完成させる。 ・各地のインプット終了後、確認テストを実施する。 			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	国内旅行地理の基礎知識のチェック 北海道の観光資源一部				授業目的の理解。都道府県名を覚える 北海道の主要な観光資源を覚える	講義		
2	北海道の観光資源、東北の観光資源一部				北海道、青森、岩手の主要な観光資源を覚える	講義		
3	東北の観光資源と関東の観光資源一部		筆記	10	宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木の主要な観光資源	講義		
4	関東の観光資源		筆記	10	群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川	講義		
5	関東の残り伊豆・中部の観光資源				山梨、静岡<伊豆含む>、新潟、長野	講義		
6	中部の残り北陸・三重の観光資源		筆記	10	愛知、岐阜、富山、石川、福井、三重	講義		
7	近畿2府4県の観光資源		筆記	10	滋賀、京都、奈良、和歌山、大阪、兵庫	講義		
8	中国5県の観光資源				鳥取、島根、岡山、広島、山口	講義		
9	四国4県と九州の観光資源		筆記	10	四国4県と福岡、佐賀、長崎	講義		
10	九州と沖縄の観光資源		筆記	10	熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	講義		
11	分野別復習		筆記	10	国立公園、郷土料理、特産品を中心に復習	講義		
12	総まとめテスト&分野別復習		筆記	30	総まとめテスト。世界遺産を中心に復習	講義		
13	分野別復習		課題	10	温泉・祭り年中行事の復習	講義		
14	分野別復習				海城公園・ジオパーク・空港コードについて復習	講義		
15	振り返りとまとめ				これまで学んだ内容の振り返り	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
公欠の場合、原則翌週に追試を実施。					110点満点とする A 79点以上(72%) B 66点以上(60%) C 52点以上(48%) D 51点以下(47%)		テキスト 国内観光資源	

授業計画書

学部	昼	科 コース	観光科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	必修	専門科目	
科目名			旅行業法			講師名	橋本 拓也		
担当講師の実務経験			○	実務 経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
国内管理者合格レベルの知識を習得する					<ul style="list-style-type: none"> 毎回、授業開始時に前回の授業内容の「確認テスト」(10分)を実施する。 プリントを配布した講義の後、過去問・演習問題で理解度を確認する。 				
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標			授業形式
1	旅行業法とは					業法の目的・用語・定義の理解			
2	登録制度①			筆記	10	旅行者の分類、登録拒否事由の理解			
3	登録制度②			筆記	10	登録の有効期間、変更・取消の理解			
4	旅程管理と旅行業務取扱管理者			筆記	10	旅程管理の責務、管理者の選任・職務の理解			
5	取引の公正のための措置			筆記	10	取引の公正に必要な項目の理解			
6	取引条件の説明と書面の交付			筆記	10	旅行契約時の説明項目・書面交付の理解			
7	禁止行為と罰則、旅行業協会			筆記	10	禁止行為、罰則、旅行業協会業務			
8	旅行サービス手配業者			筆記	10	旅行サービス手配業の理解			
9	営業保証金			筆記	10	営業保証金制度の理解			
10	弁済業務保証金			筆記	10	弁済業務保証金制度の理解			
11	練習問題			筆記	10	苦手分野克服			
12	実力テスト			筆記	100	本番形式の実力テスト			
13	総復習①					業法の目的・用語・定義、旅行者の分類、登録拒否事由の復習			
14	総復習②					登録の有効期間、変更・取消、旅程管理の責務、管理者の選任・職務の復習			
15	総復習③					禁止行為、罰則、旅行業協会業務、旅行サービス手配業の復習			
追試詳細					達成度評価			使用教材	
公欠等で休まれた場合は、原則翌週に追試を行う。その際は、必ず追試申請をすること。公欠が続き筆記試験が不可能の場合は、母数減らし対応とする。					200点満点とする A 144点以上(72%) B 120点以上(60%) C 96点以上(48%) D 95点以下(47%)			オリジナルテキスト	

授業計画書

学部	昼	科 コース	観光科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	必修	専門科目
科目名			旅行業約款			講師名	小澤 和哉	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・契約の締結、変更、解除などお客様と交わす旅行契約内容全般の知識を習得する。 ・9月に実施される国家試験の国内旅行業務取扱管理者試験合格を目指す。 					<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルテキストを使用して、旅行業約款・その他関連約款の重点事項説明と過去頻出箇所をおさえる。 ・毎時間終了前に練習問題・過去問を実施し、試験問題に慣れていく。 ・範囲の理解度によりスケジュール調整をする場合もあります。 			
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標		授業形式
				形式	点数			
1	オリエンテーション 募集型企画旅行契約の部 総則					約款全体の国家試験出題範囲を理解し、用語の定義を覚える。		
2	募集型企画旅行契約の部 契約の締結			小テスト	10	契約の申込みについて重要事項を理解する。		
3	募集型企画旅行契約の部 契約の変更			小テスト	10	契約締結後の変更について重要事項を理解する。		
4	募集型企画旅行契約の部 契約の解除			小テスト	10	契約締結後の変更や解除について重要事項を理解する。		
5	募集型企画旅行契約の部 旅程管理責任			小テスト	10	旅行業者の責任について理解する。		
6	受注型企画旅行契約の部			小テスト	10	受注型企画旅行契約の重要事項を理解する。		
7	別紙特別補償規程 補償金等			小テスト	10	企画旅行参加中の補償金について理解する。		
8	別紙特別補償規程 携帯品損害補償			小テスト	10	企画旅行参加中の携帯品損害補償について理解する。		
9	手配旅行契約の部・旅行相談契約の部			小テスト	10	手配旅行契約・旅行相談契約を理解する。		
10	国内航空運送約款・モデル宿泊約款			小テスト	10	国内航空運送・JR約款を理解する。		
11	バス、フェリー約款・その他運送約款					宿泊約款・その他運送約款を理解する。		
12	バス、フェリー約款・その他運送約款			小テスト	10	宿泊約款・その他運送約款を理解する。		
13	募集型企画旅行契約の部 復習					募集型企画旅行契約の部の復習し、再理解する		
14	契約の締結 復習					契約の締結 復習し、再理解する		
15	受注型企画旅行契約の部 復習					受注型企画旅行契約の部 復習し、再理解する		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
公欠の場合、小テスト（10点）は母数を減らして評価。追試申請書を提出する事。					A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 59%以下		JTBC総合研究所出版 旅行業約款テキスト	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ICT観光プロモーション			講師名	山田真史	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・動画制作を行い、観光地や町の魅力をSNSで発信し、創造力・企画力・分析力・発信力を身に着ける ・前期に身に着けた動画編集技術の、さらなるスキルアップを図る 					<ul style="list-style-type: none"> ・前期で学んだ、動画制作基礎の応用 ・課題に応じた動画制作を行い、冊子の作成を行う ・制作した動画は、SNSで発信していく 			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標			授業形式	
		形式	点数					
1	ガイダンス・動画制作基礎の復習			授業の概要説明。動画制作の基礎知識を復習			講義	
2	テーマにそった課題作成Ⅰ			これまでで学んだ動画撮影方法・編集方法を活用し、課題を作成する			実技	
3	テーマにそった課題作成Ⅰ			これまでで学んだ動画撮影方法・編集方法を活用し、課題を完成させる			実技	
4	テーマにそった課題作成Ⅰ			テーマにそった課題を作成していく			実技	
5	テーマにそった課題作成Ⅰ	課題	30	テーマにそった課題を作成していく			実技	
6	テーマにそった課題作成Ⅱ	課題		テーマにそった課題を作成していく			実技	
7	テーマにそった課題作成Ⅱ	課題		テーマにそった課題を作成していく			実技	
8	テーマにそった課題作成Ⅱ	課題		テーマにそった課題を作成していく			実技	
9	テーマにそった課題作成Ⅱ	課題	30	テーマにそった課題を作成していく			実技	
10	テーマにそった課題作成Ⅲ			テーマにそった課題を作成していく			実技	
11	テーマにそった課題作成Ⅲ			テーマにそった課題を作成していく			実技	
12	テーマにそった課題作成Ⅲ	課題	30	テーマにそった課題を作成していく			実技	
13	テーマにそった課題作成Ⅲ			テーマにそった課題を作成していく			実技	
14	作成物完成披露・これまでの復習	課題	10	課題の完成披露&これまで学習した内容を復習する			実技	
15	まとめ			授業の振り返りとまとめ				
追試詳細				達成度評価		使用教材		
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント 各自iPad		

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス コース		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		PCスキル（デザイン）				講師名	小路 桃子	
担当講師の 実務経歴		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
プレゼンテーションに不可欠なツール「PowerPoint」 を使って、判読性とデザイン性、言葉のセンスを 高める。また、ポスターなどの作成にも取り組む。					<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウト、配色などを学習し、よりデザイン性の 高いかつ見やすい作成物を目指す。 ・PowerPointを中心に機能などを学習していく。 ・チラシやポスターの考察しデザインセンスを高める。 ・キャッチコピー作りをすることで言葉のセンスも 高める。 			
実施 回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式		
			形式	点数				
1	ガイダンス 【W】 図の操作と地図の作成				授業概要説明 Wordで図の操作と地図の作成			
2	【W】 ポスター作成①		課①	15	Wordでポスター作成			
3	ポスターのデザイン性について				配色・レイアウト・デザイン、 ターゲットに応じた作成を目指す			
4								
5	キャッチコピー作成		課②	10	キャッチコピーの作成と表紙作成			
6	ポスター・チラシ考察 【P】 ポスター作成②		課③	10	見ようみまねでポスター作成 STARBUCKS			
7	ポスター・チラシ考察 【P】 ポスター作成③		課④	10	見ようみまねでポスター作成 旅行チラシ			
8	ポスター・チラシ考察 【P】 ポスターの作成④				デザインの技術や知識を駆使し テーマに沿ったポスターの作成			
9			課⑤	20				
10	ポスター・チラシ考察 ポスター審査/スライドデザイン 【P】 CM作成案内・作成		レポート	5	先週までに作成したポスターの審査 スライドデザインについて学ぶ CM作成案内			
11	ポスター・チラシ考察 ポスター④の結果発表 【P】 CM作成		チラシ	※5	PowerPointを使って、魅力的なCMを作る。			
12	【P】 CM作成 / CM発表会（審査）		課⑥	15	魅力的なCM作成。 CM発表会（審査）			
13	【P】 スライド作成				おいしいものプレゼン			
14	【P】 スライド作成		課⑦	10	おいしいものプレゼン			
15	まとめ・振り返り				まとめと振り返り			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		オリジナル プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			キャリアガイダンス			講師名		
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. 業界・企業の特徴を理解する 2. 内定につながる各対策 3. 納得できる進路の決定					授業形態：講義 ・就職活動の流れを理解し自分で就活する力をつける ・面接での自己表現力を身につける ・面接での柔軟性、対応力を実践し身につける			
実施 回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業 形式	
1	オリエンテーション・就活の進め方				授業の目的、意義、就活の進め方を理解			
2	書類の書き方①		課題①	15	履歴書作成のポイント①・自己分析、事前課題の振り返りと完成（自己PR）			
3	書類の書き方②				履歴書作成のポイント②・志望動機作成のポイント			
4	説明会での重要なポイント、企業研究について		課題②	15	説明会参加におけるポイントを理解 求人票の理解・就職セミナーⅠについて			
5	面接対策① 講義				面接の基本について理解する			
6	面接対策② 実践		課題③	15	面接の質問対策（よくある質問）			
7	面接練習（実技試験）		実技①	15	様々な質問に対し臨機応変に対応する			
8	グループディスカッション対策① 講義				グループディスカッションのポイント を理解する			
9	グループディスカッション対策② 実践				グループディスカッションの実践			
10	グループディスカッション対策③（実技試験）		実技②	10	グループディスカッション実技練習			
11	面接練習③ 応用（実技試験）		実技③	15	様々な質問に対し臨機応変に対応する			
12	面接練習④ 応用（実技試験）		実技④	15	様々な質問に対し臨機応変に対応する			
13	企業研究				企業研究の方法や就職情報サイトの活用方法 を知る			
14	振り返り・今後の就活について				振り返りと今後の対策・就活書類の説明			
15	まとめ				これまでの総復習・就職セミナーⅡの 準備を行う			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	共通	必修
科目名			ビジネスプレゼンテーション			講師名		
担当講師の実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
社会人として必要なプレゼンテーションスキルを習得する。 またチームビルディングの重要性を理解するとともに、主体的に行動できる人材となる					BTS（少人数オーターメイト式学習法）を取り入れ、PDCAサイクルを使用しながらチームでプロジェクトの構想、発表を行う			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション 前期振り返り			前期の内容を振り返り、今後の授業の流れや目的を理解する	講義			
2	BTS企画構想（チーム）	課題	10	前期で決めたテーマを基に、より具体的な企画を構想する	講義			
3	プレゼンテーション技法 （PREP構造） BTS企画制作	課題	5	PREP構造を理解し、論理的なプレゼンテーションスキルを習得する	講義			
4	プレゼンテーション技法（図解の仕方） BTS企画制作	課題	5	効果的な図解の使用法を学び、自身のプレゼンテーションに取り入れる	講義			
5	プレゼンテーション技法（ストーリーテリング-TAPS） BTS企画制作	課題	5	相手に伝えたい思いやコンセプトを、印象的なエピソードを交えて伝える手法を学ぶ	講義			
6	プレゼンテーション技法（身体感覚） BTS企画制作	課題	5	身体を使い、聴き手の五感に訴えられるスキルを習得する	講義			
7	プレゼンテーション技法（接客販売士） BTS企画制作	課題	5	接客販売士が駆使しているプレゼン手法を学び、自身のプレゼンテーション力を向上させる	講義			
8	BTS企画発表準備			校内発表に向けてチームで発表準備を行う	講義			
9	BTS企画発表準備			校内発表に向けてチームで発表準備を行う	講義			
10	BTS企画発表準備（リハーサル）	実技	10	校内発表に向けてリハーサル実施する	実技			
11	BTS校内発表会	課題 実技	10 20	校内発表	実技			
12	BTS校内発表フィードバック	課題	5	フィードバックを基に検証を行い、改善内容を検討する	講義			
13	PR動画準備（計画、絵コンテ作成）	課題	10	効果的なPR方法を考える内容に応じた絵コンテを作成	講義			
14	PR動画準備（撮影、編集）			前週に計画したPR動画の撮影、編集	講義			
15	PR動画発表、振り返り	実技	10	PR動画の発表、全体振り返り	実技			
追試詳細					達成度評価	使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	共通	選択
科目名			ユニバーサルツーリズム			講師名	高田 雅美	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>★ユニバーサルマナーについて理解し、おもてなしの実践について考える</p> <p>★様々な立場や個性への理解を深め、接客技術やツアープランニングに活かすことができる</p>					<p>講義、実技</p> <p>★外部より専門分野の講師を招き、現場で求められる考えや対応力を学んでいく</p>			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション 普通救命講習（筆記）		筆記	10	授業の意義を理解し、目標を設定する 「普通救命講習Ⅱ」講座	講義		
2	普通救命講習（実技）		実技	10	「普通救命講習Ⅱ」講座、実技テスト ※動きやすい服装で登校	講義		
3	ボランティアとは？		課題	10	多様なお客様に旅行を楽しんで頂ける知識を学び、活用できるようになる	講義		
4	子どもの理解		課題	10	多様なお客様に旅行を楽しんで頂ける知識を学び、活用できるようになる	講義		
5	高齢者の理解		課題	10	多様なお客様に旅行を楽しんで頂ける知識を学び、活用できるようになる	講義		
6	LGBTの理解		課題	10	多様なお客様に旅行を楽しんで頂ける知識を学び、活用できるようになる	講義		
7	インバウンド理解、外国籍の方		課題	10	多様なお客様に旅行を楽しんで頂ける知識を学び、活用できるようになる	講義		
8	講演 実録/SNSリテラシー		課題	10	多様なお客様に旅行を楽しんで頂ける知識を学び、活用できるようになる	講義		
9	バリアフリー観光の基礎				バリアフリー観光について基礎を学ぶ	講義		
10	バリアフリー観光の応用		課題	10	具体事例を基にバリアフリー観光の注意点を深く理解する	講義		
11	バリアフリーフィールドワーク準備				車椅子での実習を通して、フィールドワークに向けた準備を行う	講義		
12	バリアフリーフィールドワーク				バリアフリー旅行の理解	実技		
13	バリアフリーフィールドワーク振り返り		課題	10	バリアフリーフィールドワークの振り返り	講義		
14	宗教ツーリズム				多様なお客様に旅行を楽しんで頂ける知識を学び、活用できるようになる	講義		
15	ふりかえりとまとめ				授業の振り返りとまとめ	講義		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>テスト： 上記に準ずる</p> <p>筆記、実技テストの追試： 基本的に講師が追試申請を確認した翌週に実施 担当講師と日程調整を行うこと</p> <p>レポートの追試： 追試申請を提出した翌週中に提出</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス コース		
時間数			30	単位数	2	区分	必修	必修
科目名			海外観光プランニング			講師名	下川成一	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
●旅行業務のプロとして、海外旅行の販売、及び添乗に必要な各国の観光資源の専門的業務知識を習得する					●世界各国の人気スポットを絞り、その観光資源に関する専門知識を身につける ●オリジナルプリントを使用し、集中的理解度を高める ●画像を併用し、更なる理解度を高める ●小テストを実施し、理解度を確認する			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	方面別学習／アメリカ ①			アメリカの主な国立公園				
2	方面別学習／アメリカ ②			ハワイ諸島／各島の魅力				
3	方面別学習／アメリカ ③			ラスベガスのホテルとその楽しみ方				
4	方面別学習／アメリカ ④	筆記	30	ラスベガスのホテルとその楽しみ方				
5	方面別学習／アメリカ ⑤			ニューヨークの楽しみ方				
6	方面別学習／南米			南米の世界遺産				
7	方面別学習／アジア			シンガポール／マレーシア				
8	方面別学習／アジア			中国・韓国				
9	方面別学習／アジア	筆記	20	バリ島のリゾート				
10	方面別学習／ヨーロッパ①			イタリアの世界遺産				
11	方面別学習／ヨーロッパ②			フランスの世界遺産				
12	方面別学習／ヨーロッパ③	筆記	30	スイスの観光鉄道				
13	方面別学習／ヨーロッパ④			ノルウェー／アイスランド				
14	方面別学習／中東	筆記	20	ユダヤ教・キリスト教・イスラム教／イスラエル問題				
15	まとめ			ふりかえりとまとめ				
追試詳細					達成度評価	使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	講師作成のプリント 旅行に出たくなる地図		

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス コース		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			観光業界研究			講師名	佐野美保	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
旅行業界と関連する業界全般について、視野を広げて理解を深める。 観光業界、観光関連の職種を知ること、自分の興味関心のある分野について研究し、進路選択に役立てる。					旅行業界と関連する観光業界、ホスピタリティ産業界について、企業事例を用いて講義する。また、各方面で活躍する卒業生の経験談も取り入れる。 研究課題として、興味のある職業分野について調査発表を行う。			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	1. 授業オリエンテーション 旅行業界の仕組みを復習				旅行業とは？仕組みと職種など業界に関する復習クイズで再確認する。			
2	2. 観光業、観光業界とは？		課題	15	観光業界全般の知識を習得する。			
3	3. 旅行業の仕事と魅力その1 ～業界人講演				旅行カウンター接客の仕事についての理解を深める。			
4	4. 旅行業の仕事と魅力その2 ～業界人パネリスト				旅行営業・添乗の仕事の魅力を質問応答式講義で理解する。			
5	5. 宿泊業界を学ぶ		課題	15	ホテル、旅館業及びネット予約システムを理解する。			
6	6. 宿泊業、ホテル業を知る				ホテル勤務の先輩から経験談や仕事について聞き、その魅力を知る。			
7	7. テーマパーク業界		課題	10	テーマパーク業界の職種や仕事内容について理解する。			
8	8. 鉄道、航空産業				鉄道会社、航空会社と職種、仕事内容を知る。			
9	9. 自治体の観光戦略		課題	10	自治体のシティプロモーションを調査し、担当者のお話から理解を深める。			
10	10. 観光関連業界の企業研究 1				観光業界の企業研究手法を理解し、自身の興味関心分野に気づく。			
11	11. 観光関連業界の企業研究 2				一つの企業を選択し、研究シートに沿って調査、報告する。			
12	12. 観光関連業界の企業研究 2				一つの企業を選択し、研究シートに沿って調査、報告する。			
13	13. 観光関連業界の企業研究 2		課題	20	一つの企業を選択し、研究シートに沿って調査、報告する。			
14	14. 研究課題の発表		実技	30	前回調査した企業研究に沿ってプレゼンテーションし、評価する。			
15	15. まとめ				発表のふりかえりと観光業界についての総まとめ			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配付資料 iPad使用	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名		業界英会話				講師名		
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>・ホテルの宿泊部門・料飲部門において、応用的なサービスに必要な英語でのコミュニケーションを身につけ、外国人のお客様へより良い対応ができる。</p> <p>*試験WEEK内「インバウンド外国語検定（英語宿泊）」に挑戦する！</p>					<p>授業形態：講義</p> <p>前期で学んだことを復習し、宿泊部・料飲部の両方に関して必要な情報提供ができるようになるために、ロールプレイングも並行して行う。</p>			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式	
1	前期の振り返り・フロントインフォメーション①				ホテル周辺・観光地の道案内			
2	フロントインフォメーション②				観光地までの道案内			
3	実技レッスン				道案内に関する実技レッスン			
4	実技試験①		実・課	20	実技テスト			
5	レストラン予約の受け方				レストランでの予約の受け答えを学ぶ			
6	実技レッスン				レストラン予約の実技レッスン			
7	実技試験②		実・課	20	実技テスト			
8	ディナー・キャッシャーサービス				ディナーから会計までの対応を学ぶ			
9	実技レッスン				ディナーの一連の流れに関する実技レッスン			
10	実技試験③		実・課	20	実技テスト			
11	謝罪方法				英語による謝罪方法を学ぶ			
12	英語面接対策～基礎～				英語での質問事例を理解			
13	英語面接対策～基礎～				自己紹介+ペアワーク			
14	英語面接対策～基礎～		実技	10	模擬面接に挑戦			
15	総まとめ				振り返り			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		配布資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス コース		
時間数			30	単位数	2	区分	共通	必修
科目名			業界就職試験対策			講師名	迫田 学	
担当講師の 実務経歴			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>★業界就職試験に必要な数学、国語・社会の知識及び能力を得る。</p> <p>1 数学の文章問題が解ける</p> <p>2 国語の基礎知識を習得する</p> <p>3 社会の基礎知識を習得する</p>					問題の解説及び演習			
実施日 回数	学習項目			授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標		授業 形式
1	ガイダンス 前期復習					単元内容の理解・演習		
2	場合の数①					単元内容の理解・演習		
3	場合の数②			課題 (数学)	10	単元内容の理解・演習		
4	確率①			テスト (国・社)	10	単元内容の理解・演習		
5	確率②・速度算			課題 (数学)	10	単元内容の理解・演習		
6	時刻表・旅人算			テスト (国・社)	10	単元内容の理解・演習		
7	割合・金銭計算①			課題 (数学)	10	単元内容の理解・演習		
8	金銭計算②・濃度算					単元内容の理解・演習		
9	推論			テスト (国・社)	10	単元内容の理解・演習		
10	表の読み取り			課題 (数学)	10	単元内容の理解・演習		
11	総合練習①					場合の数、確率、速度算を集中的に復習		
12	総合練習②					割合・金銭計算・濃度算・推論を集中的に復習		
13	総合練習③					表の読み取りを中心に復習		
14	総復習テストとフィードバック			課題 (数学)	30	総まとめテストと答え合わせ		
15	まとめ					単元内容の理解・演習		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
<p>(1) テスト(国・社) 10点×3回=30点</p> <p>(2) 課題(数学) 10点×4回=40点</p> <p>(3) 期末テスト(数学) 30点×1回=30点 合計100点</p> <p>※テスト(国・社) オンライン受講の際は受けることができません。 次回登校した際に追試を受けてください。</p> <p>※課題(数学) 解答があるので、必ず赤ペンで丸つけすること。 間違っていたところは直し、次は青ペンで丸つけすること。 間違い直しをせずに提出→減点3点 丸つけせずに提出→減点3点・遅れて提出→減点3点</p>					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		<p>就職筆記対策テキスト サブテキスト 計2冊</p>	

授業計画書

学部	昼	科 コース	観光科	年次	1	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	必修	専門科目
科目名			航空端末オペレーション			講師名	小澤 和哉	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・国際線予約手配に関する知識を学び、旅行業界で求められる端末操作スキルを習得する。 ・秋に実施される試験「amadeusシステムスペシャリスト」の合格を目指す。 					<ul style="list-style-type: none"> ・演習問題を利用しながら予約手配の基礎知識を理解し、予約記録の作成を行う。 ・練習問題・過去問題を解きながら、実際の試験問題に慣れていく。 			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	オリエンテーション・基礎知識				航空予約システムの理解、国際線基礎知識を理解する			
2	都市、空港、国コードの検索				各種コードの検索と読み取りが行える			
3	空席照会と予約（基礎）				国際線スケジュール検索と予約手配を理解する（基礎）			
4	空席照会と予約（応用）				国際線スケジュール検索と予約手配を理解する（応用）			
5	お客様情報の入力（基礎）		筆記	30	旅客情報婦の入力方法を理解する(基礎)			
6	お客様情報の入力（応用）				旅客情報婦の入力方法を理解する(応用)			
7	お客様情報の入力（応用）				旅客情報婦の入力方法を理解する(応用)			
8	連絡先、旅行会社情報の入力				各種情報の基礎知識と入力方法を理解する			
9	連絡先、旅行会社情報の入力				各種情報の基礎知識と入力方法を理解する			
10	特別手配（食事、マイルージ等）				特別手配の種類と知識を学び、入力方法を理解する			
11	特別手配（食事、マイルージ等）		筆記	30	特別手配の種類と知識を学び、入力方法を理解する			
12	フライト情報の読み取り				フライト検索画面よりフライト情報の読み取りが行える			
13	演習問題（基礎）		実技	40	演習問題を行い8割以上の合格点を目指す			
14	演習問題（応用）				演習問題を行い8割以上の合格点を目指す			
15	振り返り・まとめ				行程表作成時の注意点を理解する	実技		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
実技試験(amadeus端末利用) … 合計100点満点で評価					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		テキスト・早見表	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス コース		
時間数			30	単位数	2	区分	共通	必修
科目名			国内観光プランニング			講師名	小井手桂祐	
担当講師の 実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
国内の団体ツアーを旅行形態ごとにプランニングし、 企画書として作成する。 また、企画したツアーをプレゼンテーションする。					授業形態：講義			
					個人やグループで課題のプランを作成しながらプラン ニング能力を高めていく。 最終授業では企画したツアーをグループでプレゼンテ ーションする。			
実施 回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式	
				形式	点数			
1	前期の復習（白浜日帰りツアー） 伊勢志摩1泊2日のプラン作成①					プランニングの基本を確認する。 伊勢志摩のプランを作成する。		
2	一般団体（受注型企画旅行） 伊勢志摩1泊2日のプラン作成②					伊勢志摩のプランを作成する。		
3	一般団体（受注型企画旅行） 伊勢志摩1泊2日のプラン完成			課題	30	伊勢志摩のプランを提出する。		
4	一般団体（募集型企画旅行） 北海道3泊4日のプラン作成①					北海道のプランを作成する。		
5	一般団体（募集型企画旅行） 北海道3泊4日のプラン作成①					北海道のプランを作成する。		
6	一般団体（募集型企画旅行） 北海道3泊4日のプラン作成②					北海道のプランを作成する。		
7	一般団体（募集型企画旅行） 北海道3泊4日のプラン作成③					北海道のプランを作成する。		
8	一般団体（募集型企画旅行） 北海道3泊4日のプラン完成			課題	30	北海道のプランを提出する。		
9	学生団体（受注型企画旅行） 修学旅行3泊4日の企画書作成①					修学旅行の企画書を作成する。		
10	学生団体（受注型企画旅行） 修学旅行3泊4日の企画書作成②					修学旅行の企画書を作成する。		
11	学生団体（受注型企画旅行） 修学旅行3泊4日の企画書作成③					修学旅行の企画書を作成する。		
12	学生団体（受注型企画旅行） 修学旅行3泊4日の企画書完成					修学旅行の企画書を提出する。		
13	学生団体（受注型企画旅行） 修学旅行3泊4日の企画書完成			課	30	修学旅行の企画書を提出する。		
14	修学旅行のプレゼンテーション			実技	10	修学旅行の企画書をプレゼンする。		
15	まとめ					振り返りとまとめ		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		○パソコン(インターネット) ○旅行ガイドブック ○旅行パンフレット ○ロードマップ ○JR時刻表	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス コース		
時間数		30		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			就職対策			講師名	佐野美保	
担当講師の 実務経歴		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>キャリア形成（好きな仕事を通じて人生を豊かにする）のために、まずは将来の職業イメージを明確にする必要があります。卒業後の進路・キャリアに目標を持ち、そのために必要な準備をしたうえで、自己選択・自己決定ができるようになることが目的の授業です。</p>					<p>就職活動に必要なスキルを習得する中で、自己理解から他者理解、他への影響力を意識した流れで授業を実施します。進路決定につながるキャリア支援も行いますが、自己分析から書類作成、面接準備など、自分の進路を主体的に考えて取り組んでください。</p>			
実施 回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式			
		形式	点数					
1	キャリアプランニングとは ～授業オリエンテーション			授業の目的及び内容を理解する。 自分の進路について考えてみる。				
2	自己分析1 ～自分の興味関心を知る	課題	10	ライブチャート、すころくワーク及び 価値観ワーク等により関心分野を知る。				
3	自己分析2 ～自分の適性を考える			適性検査と職業観から、自分の職業適 性について考える。				
4	自己分析3 ～自分の強みを理解する	課題	10	自己の強み、弱みを具体的に抽出し、 自己分析ができる。				
5	就活コミュニケーション1 ～文章で伝えるトレーニング			伝わる文章、自分が伝わる自己PR文を 書けるようになる。				
6	企業研究 ～研究手法と志望動機	課題	10	企業研究の手法、説明会への参加準備 等を理解する。				
7	ジョブ・カード、履歴書、エント リーシート作成	課題	20	就活に必要な書類の作成。自己PR、志 望動機で自分を伝えてみる。				
8	就活コミュニケーション2 ～言葉で伝えるトレーニング			2V（visual、vocal）を意識した立ち 居振る舞いと話し方を身につける。				
9	面接対策1 ～面接試験の概要と心構え			面接試験の手法、目的を理解し、心構 えとして必要な準備をする。				
10	面接対策2 ～グループ面接の準備と練習	課題	10	面接トレーニングから、自分の良い面 や改善面を理解する。				
11	面接対策3 ～グループ面接と評価			模擬面接で現在の自分の面接力を知 る。				
12	面接対策4 ～グループ面接と評価	実技	20	模擬面接で現在の自分の面接力を知 る。				
13	グループディスカッション ～特徴と攻略方法、練習			GDの目的を理解し、練習しながら評価 のポイントを知る。				
14	グループディスカッション ～特徴と攻略方法、練習	実技	10	GD練習しながら評価のポイントを知 る。				
15	まとめ ～就活に向けたプランニング	課題	10	就活スタートに必要な実行計画を立て る。				
追試詳細					達成度評価		使用教材	
<input type="checkbox"/> 履歴書、エントリーシート作成 20点 <input type="checkbox"/> 模擬グループ面接 20点 <input type="checkbox"/> 課題、実技等 10点×6回 追試対象学生 20点評価のものは後日提出又は授業内で別途実施する 10点評価の課題等は母数を減らして評価する					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス コース		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			地域創生デザイン			講師名	山田真史	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・この授業を通して、旅行業務の流れを理解する。 ・見学型旅行とは違う「体験型ふれあい旅行」を学び、新しい旅行素材を考える 					<p>「全国農協観光協会」様協力の基、産学連携プログラムで互いの組織が協力しながら次年度のツアー催行を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4週目以降はチーム制とし、14週目はチーム評価とするため、5週目以降の休みは公欠以外減点とします。 			
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標	授業形式	
				形式	点数			
1	オリエンテーション、地方創生とは					授業の目的・進め方を理解する		
2	取組地調査			課題①	15	和歌山県紀美野町についての情報収集		
3	FW振り返り ツアー造成に向けて			課題②	15	オンラインFWの振り返り 企画造成のテーマを決定する		
4	企画書作成					地方創生を題材とした商品企画作成		
5	企画書作成					地方創生を題材とした商品企画作成		
6	企画書作成					地方創生を題材とした商品企画作成		
7	企画書作成					地方創生を題材とした商品企画作成		
8	企画書作成					地方創生を題材とした商品企画作成		
9	企画書作成					地方創生を題材とした商品企画作成		
10	企画書作成					地方創生を題材とした商品企画作成		
11	企画書作成					地方創生を題材とした商品企画作成		
12	企画書完成			課題③	40	地方創生を題材とした商品企画が完成		
13	プレゼンテーションリハーサル					本番に向けて最終リハーサル		
14	プレゼンテーション			実技	30	プレゼンテーション		
15	振り返り・まとめ					振り返りとまとめ		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
課題①…母数減らし 課題②…母数減らし 課題③…チーム点のため、提出日は変更しない 実技…チーム点のため、実施日の変更なし					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	1	クラス			
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修	
科目名			文章表現			講師名	岩村洋子		
担当講師の実務経歴			○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方				
「観光業界」への就職に向けて、文章力を養成する ①文字を美しく書く技術を身につける ②自分の魅力と意欲を伝える技術を身につける ③語彙力を向上させて複数の選択肢の中から言葉を選んで使えるようになる					講義・実技				
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標		授業形式			
		形式	点数						
1	「社会人」として活躍するために			大人のコミュニケーション能力を理解する		講義			
2	書類の記入			筆跡やレイアウトから想像される人物像を理解する		実技			
3	自己分析/正しいひらがなの形			自分の魅力を発信する「軸」を見つける		実技			
4	文章から受ける人物像/カタカナ			「伝える」と「伝わる」の違いを理解する		講義			
5	文章における言葉遣い/アルファベット	筆記	14	文章作成の基礎の基礎を学ぶ		実技			
6	具体的に書く/漢字①	筆記	14	読み手がイメージできるように書く		実技			
7	ポジティブな表現/漢字②	筆記	14	言葉による印象の違いを理解する		実技			
8	自己PR①/地名都市名	筆記	14	自分の魅力を伝える		実技			
9	読み手の視線でチェックする/季節の挨拶	筆記	14	ブラッシュアップして完成度を上げる		実技			
10	自己PR②/ビジネス用語			文章から伝わるあなた＝等身大のあなた		実技			
11	個性や魅力を引き立たせる表現①			誤解や他に埋もれることを避ける方法を学ぶ		実技			
12	個性や魅力を引き立たせる表現②			誤解や他に埋もれることを避ける方法を学ぶ		実技			
13	個性や魅力を引き立たせる表現③	課題	30	作成した文章のフィードバック		実技			
14	語彙力クイズ			クイズ・ゲーム形式で語彙力を伸ばす		実技			
15	振り返りとまとめ			振り返りとまとめ		実技			
追試詳細					達成度評価		使用教材		
追試の手続きを終えた後、担当講師に追試日を確認する。授業内で実施。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		硬筆書写技能検定3級ドリル（予定） その他は随時ロイロノートで配布		

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			PCスキル (Word&Excel)			講師名	小路 桃子	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>魅力と訴求力あふれる資料作成を目指すことでデザイン力・センスを磨く。 また、1年次に学習した内容を網羅しつつ、新しい手法を身につける。 静止・動画をコラボさせた課題に取り組みリアリティあふれる作成物の完成を目指す。</p>					<p>Word・Excelを使って課題を仕上げしていく。 デザインに必要な配色・フォント・レイアウトを復習しつつさらに知識を深めていく。 新聞形式で課題作成、冊子の作成でスキルアップを目指す。</p>			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	ガイダンス・デザインの復習	課題	10	授業の概要説明。テーマにそって配色・レイアウト・文字を意識し課題を作成する。	講義			
2	新聞を作成する	課題	10	Wordを使って新聞作成のノウハウを学び、簡単な新聞を作成する	講義			
3	新聞を作成する			Wordを使って新聞作成のノウハウを学び、簡単な新聞を作成する	講義			
4	課題案内と作成			課題の詳細案内と作成	講義			
5	課題案内と作成	課題	10	課題の詳細案内と作成	講義			
6	テーマにそった課題作成	課題	10	テーマにそった課題を作成していく	講義			
7	テーマにそった課題作成	課題	10	テーマにそった課題を作成していく	講義			
8	テーマにそった課題作成	課題	10	テーマにそった課題を作成していく	講義			
9	テーマにそった課題作成	課題	10	テーマにそった課題を作成していく	講義			
10	テーマにそった課題作成			テーマにそった課題を作成していく	実技			
11	テーマにそった課題作成			テーマにそった課題を作成していく	実技			
12	テーマにそった課題作成	課題	20	テーマにそった課題を作成していく	実技			
13	テーマにそった課題作成			テーマにそった課題を作成していく	実技			
14	作成物完成披露・これまでの復習	課題	10	課題の完成披露&これまで学習した内容を復習する	実技			
15	まとめ			授業の振り返りとまとめ				
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		オリジナル資料	

授業計画書

学部	昼	科 コース	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			グローバルコミュニケーション			講師名	三分一誠・山田真史	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド旅行に必要な、ガイド力やコミュニケーション力の向上を図る ・国内観光に関する知識の更なる拡大を図る ・海外と日本文化の違いについての知識を、外国人留学生とのコミュニケーションを通じて身に着ける 					講義形式 ・インバウンドガイドによる講義 ・観光プランニングを実施⇒行程を決定⇒外国人留学生を観光地へ案内（ガイド）する			
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標		授業形式
				形式	点数			
1	授業オリエンテーション・日本と海外の文化の違い					授業の進め方の理解		講義
2	インバウンド旅行基礎知識					インバウンド旅行をプランニングする上での注意点を理解		講義
3	ガイド業務について			筆記	15	ガイド業務の仕事の理解		講義
4	外国人留学生との交流会					外国人留学生との交流会を通して、お互いを知る		講義
5	観光プランニング①					関西圏の観光プランニング企画作成		講義
6	観光プランニング②					関西圏の観光プランニング企画作成		講義
7	観光プランニング③					関西圏の観光プランニング企画作成		講義
8	観光プランニング④					関西圏の観光プランニング企画作成		講義
9	観光プランニング⑤			課題	30	関西圏の観光プランニング企画作成		講義
10	プレゼンテーション			実技	30	観光プランニングのプレゼンテーション		実技
11	添乗&ガイド準備					フィールドワークに向けた準備		講義
12	フィールドワーク					フィールドワークでガイド業務を行う		実技
13	フィールドワーク振り返り			課題	15	フィールドワークの振り返りと反省		実技
14	インバウンドマーケットのこれから			課題	10	インバウンドの今後について考察・研究		講義
15	まとめ					授業の振り返りとまとめ		講義
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			セールス&マーケティング			講師名	山田 真史	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
営業・マーケティング・PCスキルを学ぶことでモノを売る流れを知る。 また、営業職としてのプレゼンカやトークカも同時に習得する。					授業形態：講義 課題①営業実践として、トークカ・訴求力のあるチラシを作成し、プレゼンカをつける。 課題②アンケート調査・分析・企画提案・発表をとおしてモノを売る楽しさを知る。			
					実施回数	学習項目	授業内テスト 形式	点数
1	ガイダンス・確認テスト・PC基礎	課題	10	授業の進め方の理解・PC基礎知識を習得				
2	PC操作基礎	課題	10	PC操作に関する応用知識の習得				
3	営業基礎			営業に関する基礎知識を習得				
4	営業心理学	課題	10	お客様の心理について学び・理解する				
5	マーケティング基礎			マーケティングの基礎知識の習得				
6	マーケティング実践			マーケティングについて実践を通して学び・知識を習得する				
7	マーケティング実践	課題	20	マーケティングについて実践を通して学び・知識を習得する				
8	課題に基づいたプレゼンテーション資料作成			課題解決のための、プレゼンテーション資料の作成				
9	課題に基づいたプレゼンテーション資料作成			課題解決のための、プレゼンテーション資料の作成				
10	課題に基づいたプレゼンテーション資料作成			課題解決のための、プレゼンテーション資料の作成				
11	課題に基づいたプレゼンテーション資料作成			課題解決のための、プレゼンテーション資料の作成				
12	課題に基づいたプレゼンテーション資料作成	課題	20	課題解決のための、プレゼンテーション資料の作成				
13	プレゼンテーションの実施	実技	20	課題解決のための、プレゼンテーション実施				
14	プレゼンテーションフィードバック	課題	10	プレゼンテーションに対する振り返り				
15	振り返りとまとめ			授業の振り返りとまとめ				
追試詳細					達成度評価	使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	プリント		

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ツーリズム研究			講師名	高田 雅美	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
①旅行マーケット・客層について学ぶ。そのマーケットでのセオリー・楽しみ方を知り、受注時に必要な聞き取り情報を知る。 ②旅行業界の職種について知り、仕事の流れを知る 業界用語を学ぶ					講義形式で知識を習得する 職種紹介や、元業界人や現役OB動画などを取り入れて学ぶ			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	授業オリエンテーション 和食・郷土料理を学ぶ				<input type="checkbox"/> 授業の進め方を理解する <input type="checkbox"/> 郷土料理の定義を知り、興味を持つ <input type="checkbox"/> 旅行での食事の重要性を知る <input type="checkbox"/> 業界用語を知る	講義		
2	マリンスポーツ		筆記	10	<input type="checkbox"/> クルーズ <input type="checkbox"/> ダイビングについて学ぶ	講義		
3	スノースポーツ		筆記	10	<input type="checkbox"/> スキー <input type="checkbox"/> スノーボードについて学ぶ	講義		
4	ゴルフ		筆記	10	<input type="checkbox"/> ゴルフについて学ぶ	講義		
5	テーマパーク		筆記	10	<input type="checkbox"/> テーマパークについて学ぶ	講義		
6	ホテル		筆記	10	<input type="checkbox"/> ホテルについて学ぶ	講義		
7	クルーズ・フェリー		筆記	10	<input type="checkbox"/> フェリー <input type="checkbox"/> クルーズを学ぶ	講義		
8	リゾート学式・ハネムーン		筆記	10	<input type="checkbox"/> リゾート学式 <input type="checkbox"/> ハネムーンを学ぶ	講義		
9	旅行業界①商品造成・業務渡航		筆記	10	<input type="checkbox"/> 商品造成～精算までの流れを知る <input type="checkbox"/> パンフレットができるまでの仕組みを知る	講義		
10	旅行業界②教育旅行		課題	10	教育旅行部門について学ぶ	講義		
11	旅行関連業界③ツアーオペレーター		課題	10	ツアーオペレーター事業について学ぶ	講義		
12	旅行関連業界④添乗員		課題	10	添乗派遣事業について学ぶ	講義		
13	旅行関連業界⑤MICE				MICE事業について学ぶ	講義		
14	旅行関連業界⑥MICE		課題	10	MICE事業について学ぶ	講義		
15	まとめ				授業の振り返りとまとめ			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					120点満点で換算		プリント	
					A 96点以上			
					B 84点以上			
					C 72点以上			
					D 71点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス コース		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			海外観光プランニング			講師名	下川 成一	
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ■ 旅行業界のプロとしての業務知識を身につける ■ 方面別の集中学習 					<ul style="list-style-type: none"> ■ 高付加価値旅行商品の目的地となる方面別学習 ■ 講師作成のプリントを使った集中的な方面学習 ■ 3回のテストにより理解度をチェックする 			
実施 回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション			授業の目的、進め方、評価方法について 旅行業界に求められる人材について				
2	FIT方面別集中学習①			ニューヨークの楽しみ方				
3	FIT方面別集中学習②			アメリカの国立公園				
4	FIT方面別集中学習③	筆記	20	ラスベガスの魅力				
5	FIT方面別集中学習④			南米の世界遺産				
6	FIT方面別集中学習⑤			フランスの歴史と世界遺産				
7	FIT方面別集中学習⑥	筆記	20	イタリアの歴史と世界遺産				
8	FIT方面別集中学習⑦			ドイツの観光街道				
9	FIT方面別集中学習⑧	筆記	20	スイスの観光鉄道				
10	FIT方面別集中学習⑧			スイスの観光鉄道				
11	FIT方面別集中学習⑨			北欧ノルウェー／沿岸急行船				
12	FIT方面別集中学習⑨	筆記	20	北欧ノルウェー／沿岸急行船				
13	FIT方面別集中学習⑩			イスラエル問題／19 th ヤ教・キリスト教・イスラム教				
14	FIT方面別集中学習⑩	筆記	20	イスラエル問題／19 th ヤ教・キリスト教・イスラム教				
15	まとめ			ふりかえりとまとめ				
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	科 コース	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			企業コラボレーション			講師名	橋本 拓也	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
●1年後期で学習した海外ツアープランニングの基礎を基に更に高度なプランニングを作成する能力を身につける ●NOE主催の海外旅行企画の作成					●NOE海外旅行企画の対象国の観光資源の学習 ●企画書に沿った説得力のあるパワーポイントを作成する ●完成した企画の、より効果あるプレゼン方法の学習			
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標		授業形式
				形式	点数			
1	授業オリエンテーション					NOE企画説明／企画主旨と過去の作品 チーム別方面国と都市の決定		講義
2	NOE企画作成の準備					NOE様からの説明 各チームの行先国とテーマの研究		講義
3	NOE海外旅行企画の制作					テーマに基づいた日程表の作成		講義
4		//		課題	5	テーマに基づいた日程表の完成		講義
5		//		課題	5	日程表に基づいた企画書パワーポイント チラシの作成		講義
6		//		課題	5	日程表に基づいた企画書パワーポイント チラシの作成		講義
7		//		課題	5	日程表に基づいた企画書パワーポイント チラシの作成		講義
8		//		課題	5	日程表に基づいた企画書パワーポイント チラシの作成		講義
9		//		課題	5	日程表に基づいた企画書パワーポイント チラシの作成		
10		//		課題	5	日程表に基づいた企画書パワーポイント チラシの作成		
11		//		課題	20	企画書・チラシ・コンセプトの完成と 提出		講義
12	NOE海外旅行企画プレゼン準備			課題	20	プレゼンテーションリハーサル パワーポイントの完成と提出		実技
13	NOE海外旅行企画プレゼン本番			実技	25	NOE様に向けたプレゼンテーションの 実施		実技
14	発表を終えての振り返り					実施したプレゼンテーションを確認し、 フィードバックを行う		
15	まとめ					授業の振り返りとまとめ		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
授業内の課題提出により成績評価をします 公欠の場合、残りのメンバーが予定通りに課題提出を行うこと とし、特別な対応はしません。 ※但し、公欠に伴う申請書類は必ず提出して下さい。 授業毎に進捗状況を報告すること					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		海外観光資源 各国のガイドブック インターネット資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			国内観光プランニング			講師名	山田 真史	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社と連携して、1年生の研修旅行のプランニングを実施する。旅行会社との連携及び、グループワークから、コミュニケーション力、想像力、企画力を向上させる 					<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の研修旅行をプランニングし、プレゼンテーションを行う ・協力旅行会社との協力により、研修旅行を企画する 			
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標		授業形式
			形式	点数				
1	ガイダンス・研修旅行概要					授業の進め方・研修旅行の概要の理解		講義
2	研修旅行事例研究			課題	20	過去に実施された、研修旅行について知る		講義
3	旅行会社との顔合わせ・ヒアリング			課題	20	連携いただく企業様との顔合わせを行い、1年生や学科担当の先生方にヒアリング		講義
4	研修旅行企画作成					研修旅行の企画を作成		講義
5	研修旅行企画作成					研修旅行の企画を作成		講義
6	研修旅行企画作成					研修旅行の企画を作成		講義
7	研修旅行企画作成					研修旅行の企画を作成		講義
8	研修旅行企画作成					研修旅行の企画を作成		講義
9	研修旅行企画作成					研修旅行の企画を作成		講義
10	研修旅行企画作成					研修旅行の企画を作成		講義
11	研修旅行企画の完成			課題	30	研修旅行の企画を作成完成させる		実技
12	プレゼンテーションリハーサル					本番に向けたプレゼンリハ		実技
13	プレゼンテーション本番			実技	30	1年生・教職員に向けて研修旅行の提案		講義
14	プレゼンテーションフィードバック					プレゼンテーションのフィードバック		講義
15	振り返り・まとめ					授業の振り返りとまとめ		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			就職対策			講師名	小澤 和哉	
担当講師の実務経歴		○		実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職試験への対策として、グループディスカッション・面接対策を実施。 ・卒業後のキャリアデザインについて考え、将来設計を立てる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・採用動向の状況に合わせた就職活動対策を実施していく ・面接練習では、実践と受け答え内容を考えワークを繰り返す。 			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	就職活動に向けてグループディスカッション①				グループディスカッションの理解・対策			
2	業界人特別講演		レポート	30	業界の第一線で働く業界人に、仕事の意義について学ぶ			
3	グループディスカッション②		実技	10	グループディスカッション演習			
4	就職説明会				就職説明会実施（詳細後日連絡）			
5	グループディスカッション③		実技	10	グループディスカッション演習			
6	面接対策・自己分析①				就職試験に向けた面接対策			
7	面接対策・自己分析②		実技	10	今後のキャリアデザインを行う			
8	面接対策・自己分析③		実技	10	今後のキャリアデザインを考える			
9	面接対策・自己分析④		実技	10	今後のキャリアデザインを考える			
10	面接対策・自己分析⑤		実技	10	今後のキャリアデザインを考える			
11	面接対策・自己分析⑥		実技	10	今後のキャリアデザインを考える			
12	キャリアデザイン／個別添削				今後のキャリアデザインを完成させる			
13	キャリアデザイン／個別添削				今後のキャリアデザインを完成させる			
14	キャリアデザイン／個別添削				今後のキャリアデザインを完成させる			
15	まとめ				授業の振り返りとまとめ			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
実技・レポート：母数減らし公欠申請を忘れずに行うこと					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			総合対策 I			講師名	高田 雅美	
担当講師の実務経歴		○	実務経歴					
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
10月に実施される「総合旅行業務取扱管理者」試験科目のうち「海外実務」科目の「出入国法令」「海外実務」「国際運賃」項目について、合格できる知識を学ぶ。知識を得るだけでなく、正解をアウトプットできるようになる。					座学 基本の進め方 ・前回学習分野の筆記小テスト（10点） ↓ ・教科書に沿って学ぶ。頻出分野を知り、効率よく学ぶ ↓ ・2&3レターテスト（評価外）			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式	
1	オリエンテーション 出入国法令①第1部				渡航手続きについて学ぶ		講義	
2	出入国法令②第1部 演習問題				渡航手続きについて学ぶ		講義	
3	出入国法令③第2部		筆記	10	出入国手続きについて学ぶ		講義	
4	出入国法令④第3部 第1～第3章		筆記	10	旅行実務のうち、国際航空について学ぶ		講義	
5	出入国法令⑤第3部 第4～第7章		筆記	10	旅行実務のうち、鉄道・船舶・ホテルについて学ぶ		講義	
6	テキスト5 まとめテスト、 国際航空運賃① 第1～第2章		筆記	15	用語、運賃計算の基本について学ぶ		講義	
7	国際航空運賃② 第3章		筆記	10	運賃計算の手順について学ぶ		講義	
8	国際航空運賃③ 第4章		筆記	10	キャリア運賃について学ぶ		講義	
9	国際航空運賃④ 第4章 理解度 チェック				キャリア運賃演習、解答解説		講義	
10	国際航空運賃⑤ 規則表の読み取り、 演習問題		筆記	15	キャリア運賃演習、解答解説		講義	
11	まとめテスト				まとめテスト、解答解説		講義	
12	第2章 総合英語①				出題傾向の理解		講義	
13	総合英語②				総合管理者の英語対策		講義	
14	総合英語③		筆記	10	確認テスト、解答解説		講義	
15	まとめ				授業の振り返りとまとめ			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント 各自iPad	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			総合対策 II			講師名	下川 成一	
担当講師の実務経歴		○		実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1年前期で学んだ内容を演習問題形式で復習し、更なる知識の向上を図る ●世界主要国の観光資源・世界遺産の知識を習得する ●総合管理者試験に向けての準備のための学習とする					●テキスト及び講師作成のプリントを使用し、世界主要国の基本情報と主な観光資源について学習する ●テキストに沿った映像を活用し、理解度を高める ●小テストを実施し、理解度を確認する ●単元ごと都度演習問題を解いていく			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション 方面学習/アジアⅠ			授業計画書の説明/総合試験問題の傾向 ①台湾	講義			
2	方面学習/アジアⅡ			②ベトナム ③カンボジア	講義			
3	方面学習/アジアⅢ			④タイ	講義			
4	方面学習/アジアⅣ			⑤韓国	講義			
5	方面学習/アメリカⅠ	筆記	10	①アメリカ東海岸	講義			
6	方面学習/アメリカⅡ			②アメリカ西海岸	講義			
7	方面学習/アメリカⅢ			③ハワイ諸島	講義			
8	方面学習/オセアニア	筆記	20	①オーストラリア ②ニュージーランド	講義			
9	方面学習/ヨーロッパⅠ			①フランス	講義			
10	方面学習/ヨーロッパⅡ	筆記	20	②イタリア/パチカン	講義			
11	方面学習/ヨーロッパⅢ			③スペイン ④ポルトガル	講義			
12	方面学習/ヨーロッパⅣ	筆記	20	⑥英国	講義			
13	方面学習/中近東・アフリカ			①エジプト ②トルコ	講義			
14	総復習	筆記	30	試験に向けて演習形式で復習				
15	まとめ			授業の振り返りとまとめ				
追試詳細				達成度評価		使用教材		
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント 各自iPad		

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス コース		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			添乗実務			講師名	岡本 真実	
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ■海外添乗の準備から終了報告までの全体の基礎を把握する ■旅行業界に就くにあたり、旅行をする側と旅行を提供する側との違いを明白にする 					<ul style="list-style-type: none"> ■座学で学んだことを実践し、体感できるものにする ■Globalな視野を培うために諸外国での実際のトラブルや体験談にも耳をかたむけてもらう ■各回のメインテーマ以外にも新しい発見を意識できるサブテーマを取り入れる ■雑学の効率的な使い方を実感してもらう ■積極的に英語に触れる機会を作る 			
実施 回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式			
		形式	点数					
1	オリエンテーション/事前の準備			海外添乗実務の全体の流れを知る				
2	打合せ			手配内容の確認の重要性を学ぶ 対客電話のポイントを理解する				
3	受付～チェックイン～出国～搭乗			空港集合から機内までの業務を学ぶ ブリーフィングのポイントを理解する				
4	乗り換え～現地空港到着～入国～ホテル到着	筆記	10	現地到着からホテル到着までの流れ				
5	現地実務			ホテルについて学ぶ				
6	現地実務	実技/課題	15	観光について学ぶ				
7	現地実務			料理について学ぶ				
8	現地実務			宗教・風習について学ぶ				
9	帰国～報告及び精算	課題	15	帰国準備及び帰国後の報告と精算業務				
10	クルーズ添乗	課題	15	船内施設・アクティビティの多様さを調べて共有します				
11	クルーズ添乗	実技	15	船内施設・アクティビティの多様さを調べて共有します				
12	登山添乗	筆記	15	登山旅行での添乗員の役割・注意点を理解できる				
13	受注型企画旅行			募集型と受注型のツアー運営の違いを知ることができます				
14	受注型企画旅行	課題	15	受注型での添乗員の役割や注意点について学ぶことができます				
15	まとめ			ふりかえりとまとめ				
追試詳細					達成度評価	使用教材		
課題：提出日を翌週に変更 実技：実施日を翌週に変更 筆記：別日にて実施					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下			

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			旅行販売オペレーション			講師名	和田 茜	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ●販売知識・確認事項を把握し、料金計算・基本的な接客(来店・電話)の応対が出来る。 ●接客しながら短時間でプラン作成が出来るようになる ●旅行会社のカウンター業務で必要とされる知識を身に付ける。 ●接客の実践で必要な正しい敬語を習得する。 					<ul style="list-style-type: none"> ●販売知識・料金算出方法・パンフレットの見方を学習する。 ●得た知識を基にロールプレイを行い、受付から販売までの流れに必要な知識が身についているか実践する。 ●講師が準備したプリントを使い、各方面の主な観光地を時刻表やパンフレットと照らし合わせて再確認し、実践力を身につける。 ●料金計算出来るよう、お客様の基本的な要望を把握す 			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標	授業形式			
		形式	点数					
1	接客マナー			接客マナーや接客(電話・来店)の基本的な流れを理解する。	講義			
2	近郊温泉の基本的な接客の流れ			近郊温泉地の販売知識を習得し、簡単な温泉販売の接客が出来るようになる。	実技			
3	近郊温泉時刻表検索・料金計算			近郊温泉地までの交通を時刻表で検索し、簡単な料金計算が出来るようになる。	実技			
4	テスト1回目/TDR販売知識	筆	15	筆記テスト①/TDRを販売する上で必要な知識を習得し、基本的なJR時刻表検索が出来る	講義			
5	TDR料金計算			TDRの基本的な料金計算が出来る	実技			
6	TDR基本的な接客の流れ			TDRの基本的な受付・販売が出来る	実技			
7	TDR基本的な接客の流れ			TDRの基本的な受付・販売が出来る	実技			
8	テスト2回目/北海道販売知識	筆	15	筆記テスト②/北海道を販売する上で必要な知識の理解度を確認する	講義			
9	北海道フリープラン販売に必要なJR時刻表検索			北海道販売に必要なJR時刻表検索が出来る	実技			
10	北海道フリープランパンフレットの理解と料金計算			北海道フリープランのパンフレットを把握し、料金計算が出来る	実技			
11	北海道フリープランのロールプレイング実践と料金計算・行程表作成			ロールプレイングで北海道フリープランの基本的な接客・料金計算・行程表作成が出来るか理解度を確認する	実技			
12	北海道フリープランのロールプレイング実践と料金計算・行程表作成			ロールプレイングで北海道フリープランの基本的な接客・料金計算・行程表作成が出来るか理解度を確認する	実技			
13	テスト3回目/テスト概要	筆	20	筆記テスト③/テストの内容を把握し、練習問題を実施する	実技			
14	接客テスト/課題作成	実技テスト 課題提出	30 20	接客テストにて今までの授業の理解度を確認する	実技			
15	まとめ			授業の振り返りとまとめ				
追試詳細					達成度評価	使用教材		
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下	授業でプリントを配布します。 再配布なし。 プリントを忘れた場合はロイロノート参照 ※電卓必須		

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス	選択
時間数			30	単位数	2	区分	専門 必修
科目名			韓国語			講師名	河憲民
担当講師の実務経験		○		実務経歴			
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方			
韓国語の文字である「ハングル」を習得し、読み書きができる。 簡単な文法を活用し韓国語の文章を作って使うことができる。 日常生活とホテルに必要な簡単な会話を身につける。				韓国語を初めて学ぶ人のための入門講座である。 会話やテキストを活用して文字を学習する。 4つの技能（読む・聞く・書く・話す）を用いてコミュニケーション能力を向上させる。			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式
1	ハングルとは・挨拶表現・ハングル1課(1)				ハングルの仕組みを理解し、簡単な挨拶ができる。		講義
2	ハングル1課(2)				ハングル1課(2)の読み書きができる。		実技
3	ハングル1課復習		筆	20	ハングル1課の学習内容が理解できて活用できる。		実技
4	自己紹介・会話（です・好き/嫌いです）				簡単な自己紹介ができて、好き/嫌いな物が言える。		実技
5	ハングル2課(1)		実	20	ハングル2課(1)の読み書きができる。		実技
6	ハングル2課(2)・会話（したいです）				ハングル2課(2)の読み書きができて、したいことが言える。		実技
7	ハングル2課復習		筆	20	ハングル2課の学習内容が理解できて活用できる。		実技
8	ハングル3課・数字①				ハングル3課の読み書きができて、物を数えることができる。		実技
9	ハングル3課復習		筆	20	ハングル3課の学習内容が理解できて活用できる。		実技
10	ハングル4課(1)				ハングル4課(1)の読み書きができる。		実技
11	ハングル4課(2)・ホテルでの韓国語①				ハングル4課(2)の読み書きができて、ホテルに必要な簡単な韓国語が言える。		実技
12	ハングル4課復習				ハングル4課の学習内容が理解できて活用できる。		実技
13	ハングル4課復習		筆	20	ハングル4課の学習内容が理解できて活用できる。		実技
14	総復習				これまで学習した内容を復習する		実技
15	まとめ				授業の振り返りとまとめ		
追試詳細					達成度評価		使用教材
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		「開かれた韓国語」入門 夏雨出版（予定）

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス	選択
時間数		30		単位数	2	区分	専門 必修
科目名			接客手話			講師名	岐津素子
担当講師の実務経歴		○		実務経歴			
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方			
<p>聴覚障害者への理解を深め、基本コミュニケーションに必要な手話その他の手段を見につける。手話を通じて豊かな表現力を習得し、ホスピタリティの実践につなげる。全国手話検定5級を取得可能。</p>				<p>手話の実技学習、表現練習と並行して、きこえないお客様対応に必要なミニ講義も組み入れる。 手話検定5級対策として、手話の読取りと手話による1分間スピーチ及び面接練習を行う。</p>			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式	
			形式	点数			
1	1. 授業オリエンテーション あいさつ・名前				「なぜ手話を学んで欲しいのか」「手話言語の特徴」を理解する。	講義	
2	2. あいさつ、名前の自己紹介 (第3講座)				あいさつ及び自分・講師等の氏名を手話で表現できる。	実技	
3	3. 伝え合ってみましょう (第1, 2講座)				イメージトレーニング。言葉に頼らず伝える方法を体得する。	実技	
4	4. 聴覚障害、手話に関する理解 コミュニケーションの方法		課題	10	聞こえなくて困ること、コミュニケーションの方法について考える。	実技	
5	5. 家族の紹介(第4講座)				人を表す手話、家族紹介の手話表現を習得する。	実技	
6	6. 数字を使用した表現(第5講座)				数字を使って誕生日・時間・金額等が表現できる。指文字を使用して固有名詞が表現できる。	実技	
7	7. 趣味、好きなことについて会話 (第6講座)				自分の趣味や特技、好きなことなどを手話で表現できる。	実技	
8	8. 仕事についての会話(第7講座) ・手話読み取り確認テスト		筆記	30	将来の仕事・夢を表現できる。あいさつ・単語・指文字を見て理解できる。	実技	
9	9. 住所、都道府県など (第8講座)				自分の出身地・住所及び通学方法等を表現できる。	実技	
10	10. 手話読み取りテスト2及び都道府県の手話		筆記	30	手話会話表現を読取り、理解できるかを確認する。都道府県の手話表現を覚える。	実技	
11	11. 自己紹介(第9講座)				手話で自己紹介ができる。	実技	
12	12. 自己紹介スピーチ		実技	20	自己紹介1分間スピーチと質疑応答ができる。	実技	
13	13. 手話検定5級対策				5級の読み取り過去問題で70%以上正解できる。	実技	
14	14. 手話で表現する歌		実技	10	グループワークで歌を手話で表現し、表現力を向上させる	実技	
15	15. まとめ				授業の振り返りとまとめ		
追試詳細					達成度評価		使用教材
					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		<p>手話を学ぼう</p> <p>手話で話そう</p>

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス コース	選択
時間数			30	単位数	2	区分	専門 必修
科目名			中国語			講師名	呂仁梅
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴			
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方			
①中国語の発音を正しく覚える。 ②基本的な文法を身につけ、単語を入れ替えるだけでも場面に応じた言い方ができる。 ③中国からのお客様にも自信を持って対応することができる。				①発音、単語を覚えるために、繰り返し練習する。 ②学習済みの内容を復習する。 ③会話力アップするためロールプレイをする。 ④学習した内容を発表してもらう。			
実施 回数	学習項目	授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標	授業 形式		
1	授業オリエンテーション 発音と基本的な挨拶			正しく発音と挨拶ができる	講義		
2	発音と基本的な挨拶	実技	5	正しく発音と挨拶ができる	講義		
3	発音と基本的な挨拶	実技	5	正しく発音と挨拶ができる	講義		
4	第一課 自己紹介	実技	10	簡単な自己紹介ができる	講義		
5	復習	実技	10	学習済みの内容を定着させる	講義		
6	第二課 私は日本人です。	実技	10	「～は～だ」との表現ができる	講義		
7	第三課 私の兄も先生です。	実技	10	人称代名詞を使用して会話できる	講義		
8	第四課 これはパソコンです。	実技	10	指示代名詞を使用して会話できる	講義		
9	復習	実技	10	学習済みの内容を定着させる	講義		
10	第五課 今何時ですか。	実技	10	時刻に関する言い方ができる	講義		
11	第六課 今日は何曜日ですか。	実技	10	曜日の言い方ができる	講義		
12	第七課 この服はいくらですか。	実技	10	値段と単位の言い方ができる	講義		
13	これまでの復習			全体内容をマスターする	講義		
14	HSK模擬問題①			今まで学習した内容を振り返りながらHSKの模擬問題に挑戦し、定着度を測る	講義		
15	HSK模擬問題②			今まで学習した内容を振り返りながらHSKの模擬問題に挑戦し、定着度を測る	講義		
追試詳細				達成度評価		使用教材	
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		「実用中国語Ⅰ」	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ICTスキル			講師名	山田真史	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・観光×ドローンによる、業界課題解決を研究する ・ドローンを安全に操作できるようになる ・360度カメラを活用して、バーチャルツアーを企画する 					<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンシミュレーターを活用 ・360度カメラを使用 			
実施回数	学習項目	授業内テスト		各回の到達目標			授業形式	
		形式	点数					
1	ガイダンス・ドローン操作（復習）			授業の進め方の理解・ドローン操作の復習				
2	ドローン操作（ホバリング）	実技	15	センサーを解除した状態で、ホバリングができるようになる				
3	ドローン撮影スキル			ドローンの様々な撮影方法を習得する				
4	ドローンレース体験	実技	15	シミュレーター活用でドローンレースを行い、複雑な動きの操作を習得				
5	ドローンリスクアセスメント			ドローン进行操作する上でのリスクについて理解する				
6	ドローンFW	実技	15	フィールドワークでドローン撮影				
7	ドローンで撮影した動画の編集			フィールドワークで撮影した映像の編集				
8	ドローン動画視聴会	課題	15	動画制作スキルの向上を図る				
9	360度カメラ基礎			360度カメラの使い方を理解する				
10	テーマに沿った360度カメラの活用	筆記	10	360度カメラの様々な撮影方法を理解する				
11	テーマに基づいたバーチャルツアーの企画			360度カメラを活用した動画企画を作成				
12	テーマに基づいたバーチャルツアー撮影			360度カメラを活用した動画企画を作成				
13	360度カメラ編集			360度カメラを使った編集ができるようになる				
14	バーチャルツアー編集・完成	課題	30	企画したバーチャルツアーの完成				
15	まとめ			振り返りとまとめ				
追試詳細				達成度評価		使用教材		
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント 各自iPad ドローン 各種カメラ		

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス コース		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			PCスキル (Word&Excel)			講師名	小路 桃子	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
「Word」「Excel」ともに、各機能を理解しながら、社会人になってからもよく使用する機能を中心に学習し活用できるようになる。					授業形態：講義 ・達成目標を旨として、Word・Excelの機能のよ 学習します。 Word：ビジネス文書作成・文書の編集・グリーティング カードの作成 など Excel：見積書・日程表の作成など ・Word/Excel以外に個人情報や著作権などの 情報倫理を学習します。 ・授業の始めにメール作成演習をします			
実施 回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業 形式		
			形式	点数				
1	ガイダンス/【W】Eメールの送り方 情報倫理について				今後の授業を説明。【W】Eメールの 送り方。情報倫理について学ぶ	講義		
2	【W】Eメール演習 ビジネス文書について		メール① 筆記	10	Eメール演習とビジネス文書に必要な 知識を学習する	講義		
3	【W】Eメール演習 課題作成		メール② 課題①	15	図形やワードアートを使って グリーティングカードを作成する	講義		
4	【W】Eメール演習・ビジ 社文書復習 文書の編集・課題案内		メール③	5	Eメール演習とビジネス文書の復習 段組み・タブなどの使い方を学習する。	講義		
5	【W】Eメール演習・課題作成		メール④ 課題②	20	段組み・タブなどを使った課題作成	講義		
6	【W】Eメール演習 【E】関数・表作成		メール⑤	5	簡単な関数・表の作成を学習する	講義		
7	【E】見積書フォームの作成				見積り作成に必要な機能と関数を 学習し、見積書を完成させる (入力規則・応用関数)	講義		
8	【W】Eメール演習 【E】復習・グラフ・シート操作		メール⑥	5	グラフの特性を知り作成する。 Excelシート操作を習得する	講義		
9	【E】Excel総復習・授業内試験		実技	20	Excel総復習・授業内試験	講義		
10	これまでの復習				これまでのWordとExcelの復習	講義		
11	【E】スケジュール表作成・印刷 設定 表作成の活用・課題作成				日紙から管理表を作成する。印刷設定 を 学習する。ユーザー定義・条件付き	講義		
12	【E】課題作成				今まで学習した内容を使って日程表と ポスターを作成。	講義		
13	【E】課題作成				今まで学習した内容を使って日程表と ポスターを作成。	講義		
14	【E】課題作成		課題③	20	今まで学習した内容を使って日程表と ポスターを作成。	講義		
15	振り返りとまとめ							
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		オリジナルプリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス コース		
時間数		2		単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ビジネスマナー			講師名	山田 真史	
担当講師の 実務経歴		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
社会人として必須のビジネス実務の知識を学ぶ 1. 仕事への取り組み方 2. ビジネス社会の常識 3. 仕事の技法と知識 4. 将来のライフデザインとマネープラン					ビジネスシーンで役立つことや社会人として知っておくべき知識をワーク形式で学習する。			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	授業のオリエンテーション キャリアとは、働くということとは				学生と社会人の違い、働く意識、人生のマネジメント、ワークライフバランス、自己実現	講義		
2	コミュニケーション① 仕事の進め方の基本				効率の良い仕事をするには、基本の意識、目標と計画、日常と非日常	講義		
3	会社組織に関する知識① モラルと法律				契約に関する法律、コンプライアンス 個人情報	講義		
4	コミュニケーション② 会社組織に関する知識②				仕事上の人間関係、新入社員ケーススタディ ネットの知識、メールのマナー、秘密の保持	講義		
5	会社組織に関する知識③ 労務管理、給与体系		筆記 試験	10	権利と義務、雇用形態、就業規則 給与の原則	講義		
6	コミュニケーション③ 企画書の作成				文書の種類・企画書のポイント	講義		
7	コミュニケーション④ 会議への参加		課題 提出	15	グループワークを通じてコミュニケーションの大切さを知る。会議の知識と参加の仕方	講義		
8	コミュニケーション⑤ プレゼンテーション		実技 試験	25	ロジカルシンキング 自らの考えを上手く伝える (グループでのプレゼンテーション)	講義		
9	個人に関わるお金の知識① お金との付き合い方				パーソナルファイナンスとは、お金の管理、 収入と支出、ニーズとウォンツ、世界とお金	講義		
10	個人に関わるお金の知識② お金を稼ぐ(働く)、税金、保険				色々な働き方とお金、給与明細の見方、税金、 社会保険・民間保険の仕組みと種類	講義		
11	個人に関わるお金の知識③ お金を貯める・増やす・借りる		筆記 試験	10	利息、投資の種類、リスクとリターン、 金利と返済	講義		
12	個人に関わるお金の知識④ 契約・トラブル				契約とは、キャッシュレス化、悪徳商法を知る、 契約の取り消し、クーリングオフ	講義		
13	個人に関わるお金の知識④ 契約・トラブル		筆記 試験	30	持ち込み：テキスト2冊 「仕事の常識」「パーソナルファイナンス」	講義		
14	金融経済教育セミナー		課題	10	金融商品、クレジットカードの活用	講義		
15	振り返りとまとめ							
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		①「仕事の常識」 ②「パーソナル ファイナ ンス」 ③ Pプレジューメ 配布プリント等	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ホテル・旅館研究			講師名	和田 茜	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ●旅行先として人気のある都道府県を中心に、観光資源・施設・旅の目的等を理解し、正しくお客様に伝えられるようになる。 ●各宿泊施設の違いの理解・嗜み方を把握する。 ●各方面の有名ホテル・旅館等を把握する。 ●プレゼンにより、より多くのニーズに合ったプランを理解する。 					<ul style="list-style-type: none"> ●お客様のニーズに合ったプランを提案する為、各方面の一般的な観光地、宿泊施設を把握する。 ●各自、各方面の観光地や宿泊施設を発表する事で、より深く理解し、イメージを深める。 			
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標		授業形式
				形式	点数			
1	宿泊施設の違い・嗜み方等を理解する					ニーズに合った宿泊施設を提案する為に必要な知識を習得する		講義
2	北海道の観光資源や宿泊施設を理解する					北海道の観光資源や宿泊施設を把握し、正しい情報を伝えることが出来るようになる		講義
3	北海道のワークシート作成					お客様のニーズに合ったプランが作成できるか確認する		講義
4	北海道のワークシート作成					お客様のニーズに合ったプランが作成できるか確認する		講義
5	北海道のワークシート作成					お客様のニーズに合ったプランが作成できるか確認する		講義
6	北海道の発表			資料提出発表	20 10	お客様が行きたくなるような提案ができるか確認する		講義
7	九州の観光資源や宿泊施設を理解する					九州の観光資源や宿泊施設を把握し、正しい情報を伝えることが出来るようになる		講義
8	九州のワークシート作成					お客様のニーズに合ったプランが作成できるか確認する		講義
9	九州のワークシート作成					お客様のニーズに合ったプランが作成できるか確認する		講義
10	九州の発表			資料提出発表	25 10	お客様が行きたくなるような提案ができるか確認する		講義
11	沖縄の観光資源や宿泊施設を理解する					沖縄の観光資源や宿泊施設を把握し、正しい情報を伝えることが出来るようになる		講義
12	沖縄のワークシート作成					お客様のニーズに合ったプランが作成できるか確認する		講義
13	沖縄のワークシート作成					お客様のニーズに合ったプランが作成できるか確認する		講義
14	沖縄の発表			資料提出発表	25 10	お客様が行きたくなるような提案ができるか確認する		講義
15	振り返りとまとめ					授業の振り返りとまとめ		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		授業でプリントを配布します。 再配布なし。 紛失の場合は各自コピーして授業に参加して下さい。	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			海外観光実務			講師名	高田 雅美	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ●販売知識・確認事項を把握し、料金計算・基本的な接客(来店・電話)の対応が出来る。 ●旅行会社のカウンター業務で必要とされる知識を身に付ける。 ●接客の実践で必要な正しい敬語を習得する。 					<ul style="list-style-type: none"> ●販売知識・料金算出方法を学習する。 ●得た知識を基にロールプレイを行い、受付から販売までの流れに必要な知識が身についているか実践する。 ●講師が準備したプリントを使い、各方面の主な観光地を時刻表やパンフレットと照らし合わせて再確認し、実践力を身につける。 ●料金計算出来るよう、お客様の基本的要望を把握する。 			
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標	授業形式	
				形式	点数			
1	授業オリエンテーション、業界用語					旅行を販売に必要な業務知識を学ぶ		
2	海外旅行商品の概要、契約の流れ、代金收受			筆記	10	旅行を販売に必要な業務知識を学ぶ		
3	販売に必要な法令知識、業法・約款他			筆記	10	旅行を販売に必要な業務知識を学ぶ		
4	現地情報収集					旅行を販売に必要な業務知識を学ぶ		
5	現地情報収集			筆記	20	旅行を販売に必要な業務知識を学ぶ		
6	募集型企画旅行(パッケージツアー)受注後の流れ					旅行を販売に必要な業務知識を学ぶ		
7	募集型企画旅行(パッケージツアー)受注後の流れ			筆記	10	旅行を販売に必要な業務知識を学ぶ		
8	国際航空知識					旅行を販売に必要な業務知識を学ぶ		
9	国際航空知識			筆記	10	旅行を販売に必要な業務知識を学ぶ		
10	海外ホテル知識					旅行を販売に必要な業務知識を学ぶ		
11	海外ホテル知識			筆記	10	旅行を販売に必要な業務知識を学ぶ		
12	海外鉄道知識			筆記	10	旅行を販売に必要な業務知識を学ぶ		
13	海外クルーズ知識			筆記	10	旅行を販売に必要な業務知識を学ぶ		
14	海外拳式知識			筆記	10	旅行を販売に必要な業務知識を学ぶ		
15	振り返りとまとめ					授業の振り返りとまとめ		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント	

授業計画書

学部	昼	科 コース	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	必修	専門科目
科目名			国内観光プランニング			講師名	小井手桂祐	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
1. JR時刻表を早く正確にひけるようになる。 2. 北海道・沖縄・九州の観光資源を覚える。 3. 国内の観光列車について知識を深める					授業形態：講義 1. JR時刻表を活用し列車等の時刻や運賃料金を調べる。 2. 北海道・沖縄・九州の観光資源をプリントを使い学ぶ。 3. Google EarthやYou Tubeを活用して、楽しく学ぶ			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	JR時刻表①（新幹線）				新幹線の時刻、運賃・料金を調べることができる。	講義		
2	新幹線に関する試験 JR時刻表②（特急列車1）		筆	10	新幹線・特急列車の時刻、運賃・料金を調べることができる。	講義		
3	JR時刻表③（特急列車2）				特急列車の時刻、運賃・料金を調べることができる。	講義		
4	特急列車に関する試験 JR時刻表④（乗り継ぎ）		筆	10	新幹線と特急列車の乗り継ぎについて時刻、運賃・料金を調べることができる。	講義		
5	JR時刻表⑤（会社線）				会社線の時刻、運賃料金を調べることができる。	講義		
6	JR時刻表に関する総合試験 北海道①		筆	30	北海道の観光資源を覚える。	講義		
7	北海道②				北海道の観光資源を覚える。	講義		
8	北海道に関する試験 沖縄①		筆	20	沖縄の観光資源を覚える。	講義		
9	沖縄② 沖縄に関する試験		筆	10	沖縄の観光資源を覚える。	講義		
10	九州①				九州の観光資源を覚える。	講義		
11	九州②				九州の観光資源を覚える。	講義		
12	九州③・九州に関する試験		筆	20	九州の観光資源を覚える。	講義		
13	観光列車①				日本の観光列車の知識を深める	講義		
14	観光列車②				日本の観光列車の知識を深める	講義		
15	まとめ				授業の振り返りとまとめ			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
筆記：担当講師と相談のうえ追試日時決定。原則次週の授業内で実施。					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		JR時刻表 配布プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス コース		
時間数		60		単位数	4	区分	専門	必修
科目名			卒業制作			講師名	山田真史	
担当講師の 実務経歴		○		実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ・国内の観光資源を活用した、オンラインツアーの企画・運営を実施する ・これまで学んだ動画撮影、編集技術を活用し、オンラインツアーを完成させる 					<ul style="list-style-type: none"> ・各種プロジェクトを企画・運営しながら授業を進める ・グループワークでプロジェクトを遂行する ・オンラインツアー体験通じて、ツアーの仕組み・演出方法を理解する 			
実施 回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標			授業 形式
			形式	点数				
1	オリエンテーション オンラインツアーとは（基礎）				オンラインツアーの基礎知識を習得する			講義
2	オンラインツアー企画基礎				オンラインツアープランニングの行先決定			講義
3	オンラインツアー現地研究		課題	15	グループごとに各方面を研究する			講義
4	オンラインツアー企画造成				オンラインツアーのプランニング			講義
5	オンラインツアー企画造成				オンラインツアーのプランニング			講義
6	オンラインツアー企画造成		課題	15	オンラインツアーの企画完成			講義
7	オンラインツアーリハーサル				オンラインツアー実施に向けたリハーサル			講義
8	オンラインツアー実施		実技	35	オンラインツアーの実施・運営			講義
9	オンラインツアー運営を終えて				オンラインツアーの振り返り			講義
10	イベント企画作成				イベントの企画造成			講義
11	イベント企画作成				イベントの企画造成			講義
12	イベント企画作成				イベントの企画造成			講義
13	イベント企画作成				イベントの企画造成			講義
14	イベント企画・運営		実技	35	イベントの企画造成			講義
15	振り返りとまとめ				授業の振り返りとまとめ			講義
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			団体ツアープランニング			講師名	木下 優	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> * 企画書（行程表・見積書）が作成できるようになる * 顧客の要望や予算を意識した企画案を作成する * 旅行企画の収益を考えた企画を立案する * 顧客へ企画内容の魅力を伝えられるようなプレゼン力を身につける 					<ul style="list-style-type: none"> * ペアワークで旅行企画の立案やプレゼンを行う * WEBサイトや旅行雑誌等を活用し、企画作成を行う * 旅行事業の収益構造を考える * 顧客へヒヤリングを行い、要望に沿った旅行企画を作成する 			
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標		授業形式
				形式	点数			
1	オリエンテーション 授業内容の説明、自己紹介など					授業計画・評価方法を理解する		講義
2	バスツアー解析					バスツアーの仕組みを理解する		講義
3	団体バスツアー 見積書の作成方法について					団体バスツアーの見積書作成方法を理解する		講義
4	団体バスツアー 見積書の作成方法について			筆記	10	団体バスツアーの見積書作成方法を理解する		講義
5	見積書作成演習①					作成要件にあった団体バスツアーの見積書を作成する		講義
6	見積書作成演習②			課題	10	作成要件にあった団体バスツアーの見積書を作成する		講義
7	団体バスツアー * 顧客に対するヒヤリング*			課題	15	顧客に対しヒヤリングを行う旅行企画案を考える		講義
8	日帰りバスツアー企画①			筆記	15	日帰りバスツアーの企画を作成		講義
9	日帰りバスツアー企画②					日帰りバスツアーの企画を作成		講義
10	日帰りバスツアー企画③					日帰りバスツアーの企画を作成		講義
11	日帰りバスツアー企画④					日帰りバスツアーの企画を作成		講義
12	日帰りバスツアー企画⑤					日帰りバスツアーの企画を作成		講義
13	企画案の発表リハーサル（プレゼン）			実技	20	企画案を発表準備を行う		実技
14	企画案の発表（プレゼン）			実技	30	企画案を発表する		実技
15	まとめ					授業の振り返りとまとめ		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		オリジナル資料	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			旅行販売オペレーション			講師名	和田 茜	
担当講師の実務経験		○		実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ●販売知識・確認事項を把握し、料金計算・基本的な接客(来店・電話)の対応が出来る。 ●旅行会社のカウンター業務で必要とされる知識を身に付ける。 ●接客の実践で必要な正しい敬語を習得する。 					<ul style="list-style-type: none"> ●販売知識・料金算出方法を学習する。 ●得た知識を基にロールプレイを行い、受付から販売までの流れに必要な知識が身についているか実践する。 ●講師が準備したプリントを使い、各方面の主な観光地を時刻表やパンフレットと照らし合わせて再確認し、実践力を身につける。 ●料金計算出来るよう、お客様の基本的要望を把握する。 			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	韓国パンフレットの見方、料金計算				パンフレットの見方を把握し、韓国の料金計算が出来る	講義		
2	韓国の基本的な接客の流れ		課題	10	韓国の接客販売が出来るようになる	講義		
3	韓国の基本的な接客の流れ				韓国の接客販売が出来るようになる	講義		
4	韓国の基本的な接客の流れ				韓国の接客販売が出来るようになる	講義		
5	韓国フリープランのロールプレイング実践				韓国をお客様に提案しながら販売する方法を習得する	講義		
6	タイ(バンコク)パンフレットの見方、料金計算		筆記	15	筆記テスト①/パンフレットの見方を把握し、タイの料金計算が出来る	講義		
7	タイ(バンコク)の基本的な接客の流れ				タイの接客販売が出来るようになる	講義		
8	タイ(バンコク)の基本的な接客の流れ		課題	15	タイの接客販売が出来るようになる	講義		
9	タイ(バンコク)フリープランのロールプレイング実践				タイをお客様に提案しながら販売する方法を習得する	講義		
10	シンガポールパンフレットの見方、料金計算					講義		
11	シンガポールの基本的な接客の流れ		課題	15	シンガポールの接客販売が出来るようになる	講義		
12	シンガポールフリープランのロールプレイング実践				筆記テスト③/シンガポールをお客様に提案しながら販売する方法を習得する	講義		
13	シンガポールフリープランのロールプレイング実践		筆	15	筆記テスト③/シンガポールをお客様に提案しながら販売する方法を習得する	講義		
14	接客テスト/課題作成		実技テスト 課題提出	30	接客テストにて今までの授業の理解度を確認する	講義		
15	振り返りとまとめ				授業の振り返りとまとめ			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		授業でプリントを配します。 再配布なし。 紛失の場合は各自コピーして授業に参加して下さい。 ※電卓必須	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			旅行魅力発見			講師名	木下 優	
担当講師の実務経歴			○	実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
旅行業界や観光産業で働く上で知っておきたい「旅行にまつわる知識や文化、習慣」等の理解を深めます。また社会人になる前に旅行業務以外の知識を深めることにより、ワンランク上の社会人を目指します。					授業は座学を基本としますが、個人やグループで決められたテーマ内容を調査したり発表することで、更に理解を深めていきます。			
実施回数	学習項目			授業内テスト		各回の到達目標		授業形式
				形式	点数			
1	オリエンテーション					授業全般について 授業の進め方や目的等を確認		講義
2	日本の中華料理と世界の中国料理①					中華料理と中国料理を理解する		講義
3	日本の中華料理と世界の中国料理②					中華料理と中国料理を理解する		講義
4	ネット系旅行会社のビジネスモデル①			筆記	20	旅行会社のビジネスモデルを理解する		講義
5	ネット系旅行会社のビジネスモデル②					旅行会社のビジネスモデルを理解する		講義
6	世界で愛される珈琲の基礎知識①			筆記	20	珈琲の生産から消費までを学ぶ		講義
7	世界で愛される珈琲の基礎知識②					珈琲の生産から消費までを学ぶ		講義
8	本当にあった添乗中のトラブル事例①			筆記	20	トラブル時の対処方法を考える		講義
9	本当にあった添乗中のトラブル事例②					トラブル時の対処方法を考える		講義
10	本当にあった添乗中のトラブル事例③					トラブル時の対処方法を考える		講義
11	本当にあった添乗中のトラブル事例④					トラブル時の対処方法を考える		講義
12	グループ研究① 日本の温泉/世界のSpa			筆記	20	*グループワーク 調査、研究、まとめを行う		講義
13	グループ研究② 日本の温泉/世界のSpa					*グループワーク 調査、研究、まとめを行う		講義
14	グループ発表			課題	20	グループで役割を決め、発表する		講義
15	振り返りとまとめ					授業の振り返りとまとめ		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
■追試について 筆記：原則、翌授業にて実施 課題：原則、翌授業にて提出 * 課題未提出は点数なし 0点 * 課題提出期限遅れは減点対象					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		配布プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ゼミナール(カジノ概論)			講師名	清水尚美	
担当講師の実務経歴		○		実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
海外の観光産業として広く認知され、日本でも昨年度に実施法案が成立した「カジノ」のゲームを実際に体験し、カジノ内でのマナーを身に付けることで国際的な教養を高めることを目的とする。					授業形態：講義 ・ゲームのルールとマナーの理解 ・実践形式によるゲーム進行方法を体験			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式	
1	授業プレゼンテーション				説明会によるゼミの魅力発信		講義	
2	カジノの概要とカジノのマナー		筆記	10	カジノの歴史と現状、及びカジノにおける基本的なマナーを学習		講義	
3	ルーレット解説		筆記	10	ルーレットのルールとマナーを学習する		講義	
4	ルーレット実践		筆記	10	ルーレットの実践		講義	
5	ブラックジャック解説		筆記	10	ブラックジャックのルールとマナーを学習する		講義	
6	ブラックジャック実践		筆記	10	ブラックジャックの実践(実技)		講義	
7	ポーカー解説				ポーカー手役を学び、簡単なゲームを体験する		講義	
8	テキサス・ホールデム解説		筆記	10	テキサス・ホールデムのルールとマナーを学習する		講義	
9	テキサス・ホールデム実践		筆記	10	テキサス・ホールデムの実践(実技)		講義	
10	ミニバカラ解説&実践		筆記	10	ミニバカラのルール、マナーの学習 ミニバカラの実践(実技)		講義	
11	総復習				過去に解説したゲームルール、マナーの復習		講義	
12	総合テスト・カジノパーティー体験①		筆記	10	これまでに学んだ内容の筆記試験 カジノゲームをパーティー形式でプレイ		実技	
13	カジノパーティー体験②		実技	5	カジノゲームをパーティー形式でプレイ		実技	
14	カジノパーティー体験③		実技	5	カジノゲームをパーティー形式でプレイ		実技	
15	総まとめ				これまでの総復習			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリント	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス		
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			ゼミナール（和遊び）			講師名	高田 雅美	
担当講師の実務経験			○	実務 経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
あそびを通じて日本文化を学びます。 対象学生：自分の歳を忘れて全力で遊んでくれる方 ・コミュニケーションのネタとして活用できる ・年配の方ももちろん、お子さまやインバウンドの方の接客に役立ちます					講義、実技 プリントや動画などで遊び方や伝統を学びます。 その後グループに分かれて遊びます。			
実施回数	学習項目			授業内テスト 形式	点数	各回の到達目標		授業形式
1	(ゼミ見学日)					(ゼミ見学日)		
2	刺エテ-ヨリ、折り紙・切り絵			実技	8	「あそび」を学び、ミッションをクリアする		
3	けん玉			実技	8	「あそび」を学び、ミッションをクリアする		
4	べったん（材料持参）			実技	8	「あそび」を学び、ミッションをクリアする		
5	おはじき・ビー玉			実技	8	「あそび」を学び、ミッションをクリアする		
6	かごめ			実技	8	「あそび」を学び、ミッションをクリアする		
7	はないちもんめ			実技	8	「あそび」を学び、ミッションをクリアする		
8	花札①			実技	8	「あそび」を学び、ミッションをクリアする		
9	花札②			実技	8	「あそび」を学び、ミッションをクリアする		
10	コマ回し			実技	8	「あそび」を学び、ミッションをクリアする		
11	百人一首・双六			実技	8	「あそび」を学び、ミッションをクリアする		
12	手造り双六①作成			実技	8	A3サイズの学校別/テーマ別手作り双六を作成		
13	手造り双六②作成					A3サイズの学校別/テーマ別手作り双六を作成		
14	手作り双六③リーグ戦			実技	12	手作り双六リーグ戦実施。 優勝チームには賞品贈呈！！		
15	振り返りとまとめ					授業の振り返りとまとめ		
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		プリントなど 持参物がある場合は前週までに連絡します。	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス	選択
時間数			30	単位数	2	区分	専門 必修
科目名			韓国語			講師名	河憲民
担当講師の実務経験		○		実務経験			
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方			
韓国語の文字である「ハングル」を習得し、読み書きができる。 簡単な文法を活用し韓国語の文章を作って使うことができる。 日常生活とホテルに必要な簡単な会話を身につける。				韓国語を初めて学ぶ人のための入門講座である。 会話やテキストを活用して文字を学習する。 4つの技能（読む・聞く・書く・話す）を用いてコミュニケーション能力を向上させる。			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式
1	ハングルとは・挨拶表現・ハングル1課(1)				ハングルの仕組みを理解し、簡単な挨拶ができる。		講義
2	ハングル1課(2)				ハングル1課(2)の読み書きができる。		実技
3	ハングル1課復習		筆	20	ハングル1課の学習内容が理解できて活用できる。		実技
4	自己紹介・会話（です・好き/嫌いです）				簡単な自己紹介ができて、好き/嫌いな物が言える。		実技
5	ハングル2課(1)		実	20	ハングル2課(1)の読み書きができる。		実技
6	ハングル2課(2)・会話（したいです）				ハングル2課(2)の読み書きができて、したいことが言える。		実技
7	ハングル2課復習		筆	20	ハングル2課の学習内容が理解できて活用できる。		実技
8	ハングル3課・数字①				ハングル3課の読み書きができて、物を数えることができる。		実技
9	ハングル3課復習		筆	20	ハングル3課の学習内容が理解できて活用できる。		実技
10	ハングル4課(1)				ハングル4課(1)の読み書きができる。		実技
11	ハングル4課(2)・ホテルでの韓国語①				ハングル4課(2)の読み書きができて、ホテルに必要な簡単な韓国語が言える。		実技
12	ハングル4課復習				ハングル4課の学習内容が理解できて活用できる。		実技
13	ハングル4課復習		筆	20	ハングル4課の学習内容が理解できて活用できる。		実技
14	総復習				これまで学習した内容を復習する		実技
15	まとめ				授業の振り返りとまとめ		
追試詳細					達成度評価		使用教材
					A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		「開かれた韓国語」入門 夏雨出版（予定）

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス	選択	
時間数			30	単位数	2	区分	専門	必修
科目名			接客手話			講師名	岐津素子	
担当講師の実務経歴		○		実務経歴				
授業のねらい・学期の達成目標					授業概要と進め方			
<p>聴覚障害者への理解を深め、基本コミュニケーションに必要な手話その他の手段を見につける。手話を通じて豊かな表現力を習得し、ホスピタリティの実践につなげる。全国手話検定5級を取得可能。</p>					<p>手話の実技学習、表現練習と並行して、きこえないお客様対応に必要なミニ講義も組み入れる。 手話検定5級対策として、手話の読取りと手話による1分間スピーチ及び面接練習を行う。</p>			
実施回数	学習項目		授業内テスト		各回の到達目標	授業形式		
			形式	点数				
1	1. 授業オリエンテーション あいさつ・名前				「なぜ手話を学んで欲しいのか」「手話言語の特徴」を理解する。	講義		
2	2. あいさつ、名前の自己紹介 (第3講座)				あいさつ及び自分・講師等の氏名を手話で表現できる。	実技		
3	3. 伝え合ってみましょう (第1, 2講座)				イメージトレーニング。言葉に頼らず伝える方法を体得する。	実技		
4	4. 聴覚障害、手話に関する理解 コミュニケーションの方法		課題	10	聞こえなくて困ること、コミュニケーションの方法について考える。	実技		
5	5. 家族の紹介(第4講座)				人を表す手話、家族紹介の手話表現を習得する。	実技		
6	6. 数字を使用した表現(第5講座)				数字を使って誕生日・時間・金額等が表現できる。指文字を使用して固有名詞が表現できる。	実技		
7	7. 趣味、好きなことについて会話 (第6講座)				自分の趣味や特技、好きなことなどを手話で表現できる。	実技		
8	8. 仕事についての会話(第7講座) ・手話読み取り確認テスト		筆記	30	将来の仕事・夢を表現できる。あいさつ・単語・指文字を見て理解できる。	実技		
9	9. 住所、都道府県など (第8講座)				自分の出身地・住所及び通学方法等を表現できる。	実技		
10	10. 手話読み取りテスト2及び都道府県の手話		筆記	30	手話会話表現を読取り、理解できるかを確認する。都道府県の手話表現を覚える。	実技		
11	11. 自己紹介(第9講座)				手話で自己紹介ができる。	実技		
12	12. 自己紹介スピーチ		実技	20	自己紹介1分間スピーチと質疑応答ができる。	実技		
13	13. 手話検定5級対策				5級の読み取り過去問題で70%以上正解できる。	実技		
14	14. 総復習		実技	10	これまで学習した内容を復習する	実技		
15	15. まとめ				授業の振り返りとまとめ			
追試詳細					達成度評価		使用教材	
					<p>A 80点以上</p> <p>B 70点以上</p> <p>C 60点以上</p> <p>D 59点以下</p>		手話を学ぼう 手話で話そう	

授業計画書

学部	昼	学科 科	観光科	年次	2	クラス コース	選択
時間数			30	単位数	2	区分	専門 必修
科目名			中国語			講師名	呂仁梅
担当講師の 実務経験		○		実務 経歴			
授業のねらい・学期の達成目標				授業概要と進め方			
①中国語の発音を正しく覚える。 ②基本的な文法を身につけ、単語を入れ替えるだけでも場面に応じた言い方ができる。 ③中国からのお客様にも自信を持って対応することができる。				①発音、単語を覚えるために、繰り返し練習する。 ②学習済みの内容を復習する。 ③会話力アップするためロールプレイをする。 ④学習した内容を発表してもらう。			
実施回数	学習項目		授業内テスト 形式 点数		各回の到達目標		授業形式
1	授業オリエンテーション 発音と基本的な挨拶				正しく発音と挨拶ができる		講義
2	発音と基本的な挨拶		実技	5	正しく発音と挨拶ができる		講義
3	発音と基本的な挨拶		実技	5	正しく発音と挨拶ができる		講義
4	第一課 自己紹介		実技	10	簡単な自己紹介ができる		講義
5	復習		実技	10	学習済みの内容を定着させる		講義
6	第二課 私は日本人です。		実技	10	「～は～だ」との表現ができる		講義
7	第三課 私の兄も先生です。		実技	10	人称代名詞を使用して会話できる		講義
8	第四課 これはパソコンです。		実技	10	指示代名詞を使用して会話できる		講義
9	復習		実技	10	学習済みの内容を定着させる		講義
10	第五課 今何時ですか。		実技	10	時刻に関する言い方ができる		講義
11	第六課 今日は何曜日ですか。		実技	10	曜日の言い方ができる		講義
12	第七課 この服はいくらですか。		実技	10	値段と単位の言い方ができる		講義
13	これまでの復習				全体内容をマスターする		講義
14	HSK模擬問題①				今まで学習した内容を振り返りながらHSKの模擬問題に挑戦し、定着度を測る		講義
15	HSK模擬問題②				今まで学習した内容を振り返りながらHSKの模擬問題に挑戦し、定着度を測る		講義
追試詳細				達成度評価		使用教材	
				A 80点以上 B 70点以上 C 60点以上 D 59点以下		「実用中国語Ⅰ」	